

## レンズ交換式デジタルカメラ

# α6300

Eマウント

取扱説明書

やりたいことから探す

準備する

基本操作を確認する

静止画を撮る

動画を撮る

見る

カメラの設定を変える

パソコンでできること

カメラに機能を追加する

機能を一覧で確認する



### ヘルプガイド (Web取扱説明書)

Web上のマニュアル「ヘルプガイド」もご覧ください。パソコンやスマートフォンでご覧いただけます。

<http://rd1.sony.net/help/ilc/1540/ja/>

# 警告 安全のために

→ 112~115ページも  
あわせてお読みください。

誤った使いかたをしたときに生じる感電や傷害など人への危害、また火災などの財産への損害を未然に防止するため、次のことを必ずお守りください。



## 「安全のために」の注意事項を守る

### 定期的に点検する

1年に1度は、電源プラグ部とコンセントの間にほこりがたまっていないか、電源コードに傷がないか、故障したまま使用していないか、などを点検してください。

### 故障したら使わない

カメラやACアダプター、バッテリーチャージャーなどの動作がおかしくなったり、破損していることに気がついたら、すぐに相談窓口へご相談ください。

### 万一、異常が起きたら

変な音・  
においがしたら  
煙が出たら

- ➔
- ① 電源を切る
  - ② 電池をはずす
  - ③ 相談窓口につながる

裏表紙に相談窓口の連絡先があります。

### 危険 万一、電池の液漏れが起きたら

- ① すぐに火気から遠ざけてください。漏れた液や気体に引火して発火、破裂のおそれがあります。
- ② 液が目に入った場合は、こすらず、すぐに水道水などきれいな水で十分に洗ったあと、医師の治療を受けてください。
- ③ 液を口に入れたり、なめた場合は、すぐに水道水で口を洗浄し、医師に相談してください。
- ④ 液が身体や衣服についたときは、水でよく洗い流してください。

### 警告表示の意味

この取扱説明書や製品では、次のような表示をしています。

#### 危険

この表示のある事項を守らないと、極めて危険な状況が起こり、その結果大けがや死亡にいたる危害が発生します。

#### 警告

この表示のある事項を守らないと、思わぬ危険な状況が起こり、その結果大けがや死亡にいたる危害が発生することがあります。

#### 注意

この表示のある事項を守らないと、思わぬ危険な状況が起こり、けがや財産に損害を与えることがあります。

### 注意を促す記号



火災



感電

### 行為を禁止する記号



禁止



分解禁止



ぬれ手禁止

### 行為を指示する記号



プラグをコンセントから抜く



指示

### 電池について

安全のために本文中の「電池」とは、「バッテリーパック」も含まれます。

# お使いになる前に必ずお読みください

## 表示言語について

本機では、日本語のみに対応しています。その他の言語には変更できません。

## メモリーカードのバックアップについて

アクセスランプ点灯中に電源を切ったり、バッテリーやメモリーカードを取り出したりすると、メモリーカードのデータが壊れることがあります。データ保護のため必ずバックアップをお取りください。

## 本機搭載の機能について

- 本機は1080 60i記録対応機です。
- 本機は、1080 60p記録対応機です。1080 60pとは、従来の標準的な記録モードがインターレースで記録するのとは異なり、プログレッシブで記録します。これにより解像度が増え、滑らかでよりリアルな映像を撮影することができます。
- 本機は4K 30p/4K 24p記録対応機です。より高解像度の映像を撮影することができます。

## 管理ファイル作成について

管理ファイルが作成されていないメモリーカードを本機に挿入し電源を入れると、メモリーカードの一部の容量を使って自動的に管理ファイルを作成するため、次の操作まで時間がかかることがあります。

管理ファイルエラーが発生したときは、PlayMemories Home™ですべての画像をパソコンに取り込んでから、本機でメモリーカードをフォーマットしてください。

## 録画・再生に際してのご注意

- メモリーカードの動作を安定させるために、メモリーカードを本機ではじめてお使いになる場合には、まず、本機でフォーマットすることをおすすめします。フォーマットすると、メモリーカードに記録されているすべてのデータは消去され、元に戻すことはできません。大切なデータはパソコンなどに保存しておいてください。
- 長期間、画像の撮影・消去を繰り返しているとメモリーカード内のファイルが断片化(フラグメンテーション)して、動画記録が途中で停止してしまう場合があります。このような場合は、パソコンなどに画像を保存したあと、[フォーマット](20ページ)を行ってください。
- 必ず事前のためし撮りをして、正常に記録されていることを確認してください。
- 本機は防じん、防滴性に配慮して設計されていますが、防水性能はそなえていません。
- 本機をぬらさないでください。水滴が内部に入り込むと、故障の原因になるだけでなく、修理できなくなることもあります。
- カメラを太陽など強い光源へ向けしないでください。内部の部品が破損するおそれがあります。
- レンズに向けてレーザーなどの光線を直接照射しないでください。イメージセンサーが破損し、カメラが故障することがあります。
- 取りはずしたレンズを通して、太陽や強い光を見ないでください。目に回復不可能なほどの障害をきたすおそれがあります。また故障の原因になります。

- 強力な電波を出るところや放射線のある場所で使わないでください。正しく撮影・再生ができないことがあります。
- 本機に振動や衝撃を与えないでください。誤作動したり、画像が記録できなくなるだけでなく、記録メディアが使えなくなったり、撮影済みの画像データが壊れることがあります。
- フラッシュの表面の汚れは取り除いてください。フラッシュ表面の汚れが発光による熱で発煙したり、焦げる場合があります。汚れ・ゴミがある場合は柔らかい布などで清掃してください。

### 保管方法

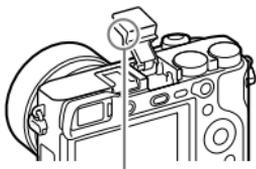
使用しないときは、必ずレンズフロントキャップを付けてください。

### モニターおよびファインダー、レンズについてのご注意

- モニターやファインダーは有効画素99.99%以上の非常に精密度の高い技術で作られています。黒い点が現れたり、白や赤、青、緑の点が消えないことがあります。これは故障ではありません。これらの点は記録されません。
- モニターを持って本機を持ち運ばないでください。
- 電動ズームレンズ使用時は、レンズ駆動時に物や指を引き込まれないように注意してください。

### 磁石について

本機では下記の位置に磁石が設置されています。クレジットカードなど磁気の影響を受けるものを近づけないでください。



磁石

### ファインダーでの撮影について

ファインダーを使用中、目の疲労、疲れ、気分が悪くなる・乗り物酔いに似た症状が出る場合があります。ファインダーを使用するときは、定期的に休憩をとることをおすすめします。

必要な休憩の長さや頻度は個人によって異なりますので、ご自身でご判断ください。不快な症状が出たときは、回復するまでファインダーの使用を控え、必要に応じて医師にご相談ください。

### レンズとアクセサリについてのご注意

本機には、カメラの特性に適合するように設計されたソニー製レンズ/アクセサリのご使用をおすすめします。他社製品と組み合わせて使用した際の性能や、それによって生じた事故や故障につきましては保証いたしかねますので、あらかじめご了承ください。

### フラッシュについて

- フラッシュ部を持ちたり、無理な力を加えないでください。
- 上がったフラッシュ部に水滴や砂埃が入ると故障の原因になります。
- フラッシュ部を下げるときに手を挟まないように注意してください。

### 本機の温度について

ご使用中に本体およびバッテリーが温かくなりますが故障ではありません。

## 温度保護機能について

本機やバッテリーの温度によっては、カメラを保護するために自動的に電源が切れたり、動画撮影ができなくなることがあります。電源が切れる前や撮影ができなくなった場合は、モニターにメッセージが表示されます。このような場合、本機やバッテリーの温度が充分下がるまで電源を切ったままお待ちください。充分に温度が下がらない状態で電源を入れると、再び電源が切れたり動画撮影ができなくなることがあります。

## 画像の互換性について

- 本機は、(社)電子情報技術産業協会 (JEITA)にて制定された統一規格“Design rule for Camera File system”(DCF)に対応しています。
- 本機で撮影した画像の他機での再生、他機で撮影/修正した画像の本機での再生は、ともに保証いたしません。

## XAVC S動画とAVCHD動画のパソコンへの取り込みについて

XAVC S動画とAVCHD動画をパソコンに取り込むときは、ソフトウェア PlayMemories Home を下記からインストールして使用してください。  
<http://www.sony.net/pm/>

## 認証マークの表示について

本機が対応している認証マークの一部は、本機の画面上で確認することができます。MENUボタン →  (セットアップ) → [認証マーク表示] を選択してください。本機の故障などの問題により表示できない場合は、相談窓口にご相談下さい。

## 本機で撮影した動画を、他機で再生する際のご注意

- 本機で記録した動画は本機以外の機器では正常に再生できない場合があります。また他機で記録した動画は本機で再生できない場合があります。
- 本機で記録したAVCHD動画から作成したディスクはAVCHD規格対応機器でのみ、再生できます。DVDプレーヤーやDVDレコーダーはAVCHD規格に非対応のため、AVCHD動画から作成したディスクを再生できません。また、これらの機器にAVCHD規格で記録したハイビジョン画質(HD)のディスクを入れた場合、ディスクの取り出しができなくなる可能性があります。
- 1080 60pの動画は対応機器以外では再生できません。
- XAVC Sの動画は、対応機器以外では再生できません。

## この機器のネットワークモードでの使用時の注意事項

本製品の使用周波数は2.4GHz帯です。この周波数帯では電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ライン等で使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局(免許を要する無線局)等(以下「他の無線局」と略す)が運用されています。

1. 本製品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本製品と「他の無線局」に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用場所を変えるか、電波の発射を停止してください。

3.その他、この機器から「他の無線局」に対して有害な電波干渉の実例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、相談窓口へお問い合わせください。相談窓口については、本取扱説明書の裏表紙をご覧ください。

2.4DS / OF2

この無線機器は2.4GHz帯を使用します。変調方式としてDSSS/OFDM 変調方式を採用し、与干渉距離は20m以下です。

### ワイヤレスLANに関するご注意

紛失や盗難などによって本機に搭載されている接続先への不正アクセスや利用などが行われ、被害や損害が発生しても、弊社では一切の責任を負いかねます。

### ワイヤレスLAN 製品ご使用時におけるセキュリティについて

- ハッキングや悪意ある第三者からのアクセス、その他の脆弱性を回避するため、常にセキュアなワイヤレスLAN を使用していることを確認してください。
- ワイヤレスLAN ではセキュリティの設定をすることが非常に重要です。
- セキュリティ対策を施さず、あるいはワイヤレスLAN の使用上やむを得ない事情により、セキュリティの問題が発生してしまった場合、弊社ではこれによって生じたあらゆる損害に対する責任を負いかねます。

### ワイヤレスLAN機能の使用地域について

本機のWi-Fi機能は日本での利用を前提としています。海外での使用はその国、または地域の電波関連規制等に違反する恐れがあり、当社では一切の責任を負いかねます。

### 著作権についてのご注意

- あなたがカメラで撮影したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興行、展示物などの中には、個人として楽しむなどの目的があっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。
- [著作権情報]の不正使用を未然に防ぐため、カメラを貸したり譲渡するときには、[撮影者名設定]と[著作権者名設定欄]は必ず空欄にしてください。
- [著作権情報]の使用によってトラブルや損害が生じても、弊社では一切の責任を負いかねます。

### 録画・再生に際してのご注意

万一、カメラや記録メディアなどの不具合により撮影や再生がされなかった場合、また、記録内容が破損・消滅した場合、画像や音声などの記録内容の補償については、ご容赦ください。大切な記録内容はバックアップを取っておくことをおすすめします。



電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

## 目次

安全のために.....	2
お使いになる前に必ずお読みください.....	3
「ヘルプガイド」について.....	11

### やりたいことから探す

やりたいことから探す .....	12
------------------	----

### 準備する

付属品を確認する.....	14
各部の名前を確認する .....	15
レンズ .....	19
バッテリーとメモリーカード(別売)を入れる .....	20
メモリーカードをフォーマットする.....	20
メモリーカードを取り出す .....	21
バッテリーを取り出す .....	21
バッテリー充電と使用可能枚数/時間 .....	22
パソコンに接続して充電する.....	23
バッテリーの使用時間と撮影/再生枚数 .....	24
外部電源で本機を使う .....	25
レンズを取り付ける/はずす .....	26
レンズを取りはずす.....	27
日付と時刻を設定する .....	28
日時やエリアを確認する/合わせ直す .....	29

## 基本操作を確認する

操作方法を確認する .....	30
コントロールホイールの使いかた .....	30
コントロールダイヤルの使いかた .....	31
AF/MF/AEL切換レバーの使いかた .....	31
Fn(ファンクション) ボタンで選ぶ .....	32
MENUボタンで選ぶ .....	33
カメラ内ガイドを見る .....	34

## 静止画を撮る

自動で最適な設定で撮る(オート撮影) .....	35
状況を自動判別して撮る(おまかせオート/ プレミアムおまかせオート) .....	36
ズームする .....	37
ズーム倍率 .....	38
フラッシュ撮影する .....	39
使用可能なフラッシュモード .....	40
画面の表示を変える(DISP) .....	41
画像のサイズを選ぶ .....	43
画質を選ぶ(RAW/JPEG) .....	44
撮影モードを変える(モードダイヤル) .....	45
場面に合った撮影モードを使う(シーンセレクション) ....	46
絞りとシャッタースピードを好みの設定にする .....	47
背景のぼかし具合を調節して撮る(絞り優先) .....	47
動くものの表現を変えて撮る (シャッタースピード優先) .....	48
思い通りの露出で撮る(マニュアル露出) .....	49
ピントを合わせる .....	50
ピント合わせの方法を選ぶ .....	50
ピントを合わせるエリアを選ぶ (フォーカスエリア) .....	51
ピントを手動で好みの位置に合わせる (マニュアルフォーカス) .....	52
好みの画像の仕上がりで撮る(クリエイティブスタイル) ...	54
明るさを調整する(露出補正) .....	56
ISO感度を選ぶ .....	57
連続して撮る(連写/ブラケット) .....	58

セルフタイマーで撮る.....	60
動きの速い被写体をよりなめらかに表示する.....	61
シャッター音を消して撮影する (サイレント撮影).....	62
撮影機能を自分好みにカスタマイズする.....	63
登録した設定を呼び出して撮影する.....	63
カスタムキーの設定機能を変える.....	63
Fn(ファンクション)ボタンの設定機能を変える.....	66

## 動画を撮る

動画を撮る.....	67
動画の記録方式/画質を選ぶ.....	68
絞りとシャッタースピードを設定して動画を撮る... ..	71
スローモーション動画を撮影する (ハイフレームレート撮影).....	71
あらかじめ設定した画質で撮る (ピクチャープロフィール).....	73

## 見る

静止画を見る.....	74
動画を見る.....	75
素早く探す(一覧表示).....	76
削除する.....	77
その他の再生機能を使う.....	77

## カメラの設定を変える

電子音の設定を変える.....	78
-----------------	----

## パソコンでできること

ソフトウェアを活用する.....	79
パソコンへ画像を取り込んで活用する (PlayMemories Home).....	80

## カメラに機能を追加する

カメラに機能を追加する (PlayMemories Camera Apps).....	81
アプリケーションをダウンロードする.....	81
アプリケーションを起動する.....	82 <sup>JP</sup>

## 機能を一覧で確認する

MENUボタンで選ぶ機能一覧.....	83
 (撮影設定) .....	83
 (カスタム設定) .....	87
 (ワイヤレス) .....	91
 (アプリケーション) .....	92
 (再生) .....	92
 (セットアップ) .....	93
撮影モードごとの設定できない機能.....	96
モニターに表示されるアイコン一覧.....	97

## その他

使用できるメモリーカード.....	101
静止画の記録可能枚数と動画の記録可能時間.....	102
静止画.....	102
動画.....	103
故障かな?と思ったら.....	105
使用上のご注意.....	109
保証書とアフターサービス.....	111
安全のために.....	112
主な仕様.....	116
索引.....	120

Wi-Fi機能/NFCワンタッチ機能の詳細については、別紙の「Wi-Fi/NFCワンタッチ機能ガイド」またはヘルプガイド(11ページ)をご覧ください。

本書では付属するレンズが異なる機種をまとめて記載しています。  
レンズによって、機種名が変わります。

機種名	付属するレンズ
ILCE-6300	なし
ILCE-6300L	E PZ 16-50mm

# 「ヘルプガイド」について



「ヘルプガイド」はオンラインで見るマニュアルです。  
パソコンやスマートフォンでご覧ください。  
以下の機能など、さらに詳しい使いかたをご覧ください  
だけです。

- ISO AUTO低速限界
- ピクチャープロファイル
- ガンマ表示アシスト
- TC/UB設定
- ブライトモニタリング
- 瞳AF
- ピクチャーエフェクト
- パノラマ撮影

## URL :

<http://rd1.sony.net/help/ilc/1540/ja/>



# やりたいことから探す

## カメラまかせできれいに撮りたい

- iQ+ (プレミアムおまかせオート) で撮る ..... 36, 45
- シーンセレクションで好みのモードを選んで撮る ..... 46

## 動画を撮りたい

- MOVIE (動画) ボタンでかんたんに撮る ..... 67
- スローモーション動画を撮る ..... 71
- 動画の記録方式と画質を設定する ..... 68
- 好みの設定で動画を撮る ..... 71

## 薄暗い場所でもブレずに撮りたい

- iQ+ (プレミアムおまかせオート) で撮る ..... 36, 45
- シーンセレクションの  (手持ち夜景)、  
 (人物ブレ軽減) で撮る ..... 46
- ISO感度を上げる ..... 57
- セルフタイマーを使って手ブレを抑える ..... 60
- フラッシュを発光して撮る ..... 39

## 動いている被写体を撮りたい

- シーンセレクションの  (スポーツ) を使う ..... 46
- ロックオンAFでピントを合わせ続ける ..... 51
- 連続撮影で複数枚撮る ..... 58
- シャッタースピードを上げてブレずに撮る ..... 48

## 背景をぼかして撮りたい

- 絞りを好みの設定にして撮る ..... 47

## 逆光でもきれいに撮りたい

- iQ+ (プレミアムおまかせオート) で撮る ..... 36, 45
- フラッシュを発光して撮る ..... 39

## 被写体に近づいて撮りたい

シーンセレクションの  (マクロ) で撮る ..... 46

## 好みの設定で思いどおりに撮りたい

多彩な機能を設定できる撮影モードにする  
(撮影モードP/A/S/M) ..... 45, 47, 48, 49  
ピントを手動で好みの位置に合わせる ..... 52  
気に入った設定をカメラに覚えさせる ..... 63  
Fn(ファンクション) ボタンで好みの設定にする ..... 32  
画像の横縦比、画像サイズ、画質を変えて撮る ..... 43, 83

## 日付を設定したい/著作権情報を設定したい

日付を設定する/変更する ..... 28, 95  
著作権情報を設定する ..... 95

## パソコンに画像を取り込んで活用したい

PlayMemories Homeをインストールする ..... 80  
動画からディスクを作成する ..... 80

## カメラにアプリケーションを追加したい

アプリケーションをダウンロードする ..... 81

### Wi-Fi機能を使いたい

Wi-Fi機能/NFCワンタッチ機能の詳細については、別紙の「Wi-Fi/NFCワンタッチ機能ガイド」またはヘルプガイド(11ページ)をご覧ください。

# 付属品を確認する

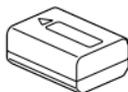
ご自分のカメラの機種名をご確認の上(10ページ)、付属品をお確かめください。

万一、不足の場合はお買い上げ店にご相談ください。

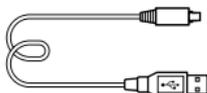
( )内の数字は個数です。

## 全機種共通

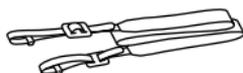
- カメラ (1)
- リチャージャブルバッテリーパックNP-FW50 (1)



- マイクロUSBケーブル (1)



- ACアダプター (1)
- ショルダーストラップ (1)



- アイピースカップ (1)



- シューキャップ (1)  
(本機に装着)
- 取扱説明書(本書) (1)
- 保証書 (1)
- Wi-Fi/NFCワンタッチ機能ガイド (1)

## ILCE-6300

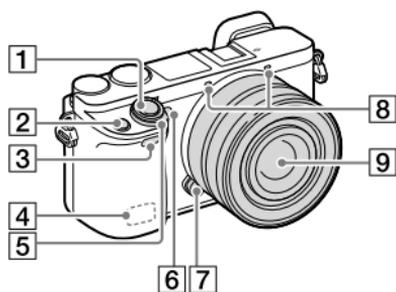
- ボディキャップ (1)  
(本機に装着)

## ILCE-6300L

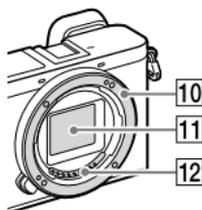
- E PZ 16-50mmズームレンズ (1) (レンズフロントキャップ含む) (本機に装着)

# 各部の名前を確認する

( )内の数字は参照ページです。



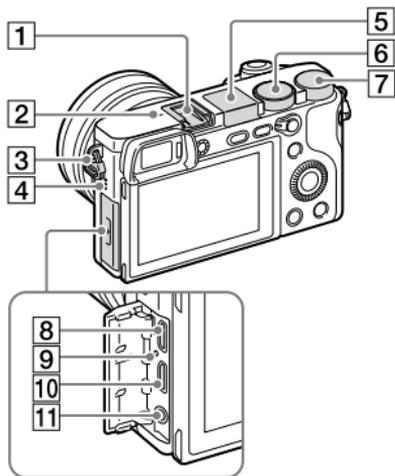
## レンズ取りはずし時



- 1 シャッターボタン(35)
- 2 C1(カスタム1)ボタン
- 3 リモコン受光部
- 4 Wi-Fi受信部(内蔵)
- 5 ON/OFF(電源)スイッチ  
オン オフ  
(28)

- 6 セルフタイマーランプ(60) / AF補助光(84)
- 7 レンズ取りはずしボタン(27)
- 8 マイク<sup>1)</sup>
- 9 レンズ(26)
- 10 マウント
- 11 イメージセンサー<sup>2)</sup>
- 12 レンズ信号接点<sup>2)</sup>

- <sup>1)</sup> 動画撮影時はふさがないでください。
- <sup>2)</sup> 直接手で触れないでください。

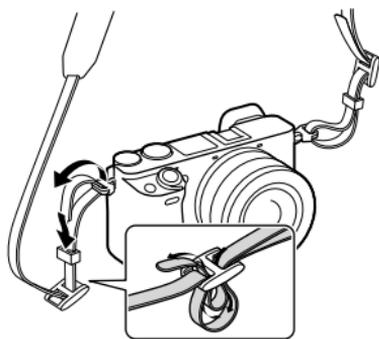


1 マルチインターフェース  
シュー\*

2  イメージセンサー位置  
表示

3 ショルダーストラップ  
取り付け部

- 落下防止のため、  
ショルダーストラップを取り付  
けてご使用ください。



4 スピーカー

5 フラッシュ (39)

- 発光させるには、 (フラッシュ  
ポップアップ) ボタンを押してく  
ださい。フラッシュ発光部は自  
動でポップアップしません。
- フラッシュを使わないときは、  
手で押して元に戻してください。

6 モードダイヤル (45)

7 コントロールダイヤル (31)

8 マルチ/マイクロUSB端子\*

- この端子にはマイクロUSB規格  
に対応した機器をつなぐことが  
できます。

9 充電ランプ (22)

10 HDMIマイクロ端子

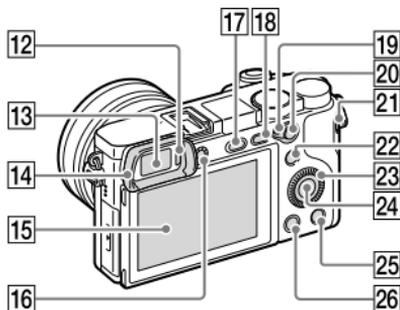
11  (マイク) 端子

- 外部マイクを接続すると自動的  
に外部マイクに切り替わります。  
プラグインパワー対応の外部マ  
イクを使うと、マイクの電源は  
本機から供給されます。

- \* マルチインターフェースシュー、マルチ/マイクロUSB端子対応アクセサリーについて詳しくは、専用サポートサイトでご確認ください。  
<http://www.sony.jp/support/ichigan/>  
 アクセサリーシュー対応のアクセサリーも使用できます。他社のアクセサリーを取り付けた場合の動作は保証できません。

**ni** Multi  
Interface Shoe

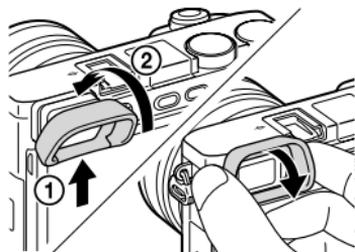
Accessory Shoe



- 12 アイセンサー
- 13 ファインダー
- 14 アイピースカップ

- 出荷時は本機に装着されていません。ファインダーで撮影するときは、アイピースカップを取り付けることをおすすめします。

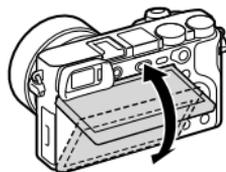
## 取り付けかた/はずしかた



- マルチインターフェースシューに別売アクセサリーを取り付けるときは、アイピースカップをはずしてください。

### 15 モニター

- モニターを見やすい角度に調整して、自由なポジションで撮影できます。

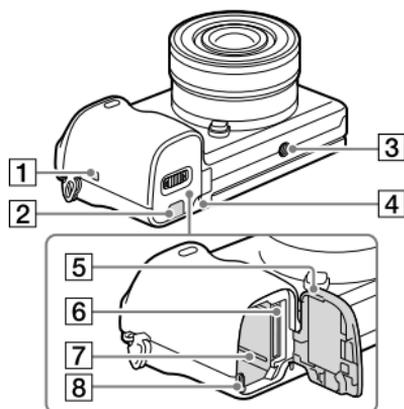
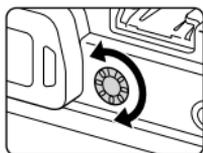


- 取り付ける三脚によってはモニターの角度が調整できない場合があります。その場合、一度三脚ネジを緩めてからモニターの角度を調整してください。

準備する

## 16 視度調整ダイヤル

- ファインダー内の画像表示がはっきり見えるように、ご自身の視力に合わせてダイヤルを回します。視度調整ダイヤルが回しにくいときは、アイピースカバーをはずしてから操作してください。



## 17 (フラッシュポップアップ) ボタン (39)

## 18 <sup>メニュー</sup>MENUボタン (33)

## 19 AF/MF/AEL切替レバー (31)

## 20 撮影時：AF/MFボタン/AELボタン (31)

再生時： (拡大) ボタン

## 21 <sup>ムービー</sup>MOVIE (動画) ボタン (67)

## 22 <sup>ファンクション</sup>撮影時：Fnボタン (32)

再生時： (スマートフォン転送) ボタン

- このボタンを押すことでスマートフォン転送画面になります。

## 23 コントロールホイール (30)

## 24 中央ボタン (30)

## 25 C2 (カスタム2) ボタン/ (削除) ボタン (77)

## 26 (再生) ボタン (74)

## 1 (Nマーク)

- NFC機能搭載のスマートフォンと本機を無線接続するときにタッチします。
- NFC (Near Field Communication) は近距離無線通信技術の国際標準規格です。

## 2 接続プレートカバー

- ACアダプターAC-PW20 (別売) を使うときに使います。バッテリー挿入口に接続プレートを入れ、図のように接続プレートカバーからコードを出します。



- カバーを閉じるときは、コードを挟まないように気をつけてください。

### ③ 三脚用ネジ穴

- ネジの長さが5.5mm未満の三脚を使う。5.5mm以上の三脚ではしっかり固定できず、本機を傷つけることがあります。

### ④ アクセスランプ (21)

### ⑤ バッテリー/メモリーカードカバー (20)

### ⑥ メモリーカード挿入口 (20)

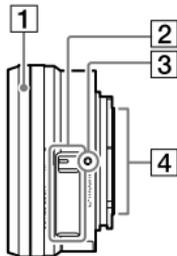
### ⑦ バッテリー挿入口 (20)

### ⑧ バッテリーロックレバー (20)

## レンズ

レンズの仕様は118ページをご覧ください。

### E PZ 16-50mm F3.5-5.6 OSS (ILCE-6300Lに付属)



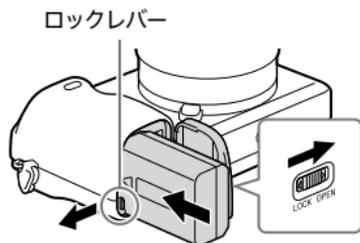
- ① ズーム/フォーカスリング
- ② ズームレバー
- ③ マウント標点
- ④ レンズ信号接点\*

\* 直接手で触れないでください。

# バッテリーとメモリーカード(別売)を入れる

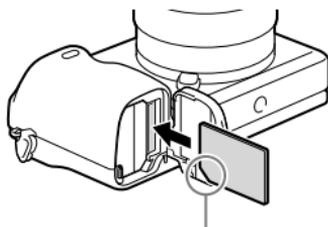
## 1 カバーを開けてバッテリーを入れる。

- バッテリーの向きを確認し、ロックレバーを押しながら入れます。



## 2 メモリーカード(別売)を入れる。

- 切り欠き部をイラストの向きに入れます。
- 本機で使用できるメモリーカードについては、101ページをご覧ください。



切り欠きの向きに注意する

## 3 カバーを閉じる。

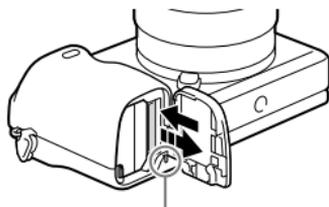
### メモリーカードをフォーマットする

メモリーカードの動作を安定させるために、メモリーカードを本機ではじめてお使いになる場合には、まず、本機でフォーマット(初期化)することをおすすめします。

- フォーマットすると、プロテクトしてある画像や登録情報(M1~M4)も含めて、すべてのデータが削除され、元に戻せません。大切なデータはパソコンなどに保存しておいてください。
- フォーマットするには、MENUボタン →  (セットアップ) → [フォーマット] を選びます。

## メモリーカードを取り出す

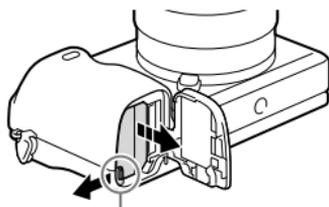
アクセランプが消えていることを確認して、メモリーカードを押す。



アクセランプ

## バッテリーを取り出す

ロックレバーをずらす。バッテリーが押し出されるので、落下しないように注意する。



ロックレバー

### ご注意

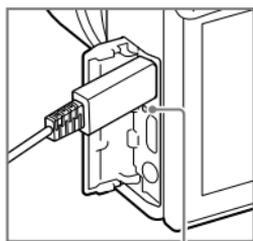
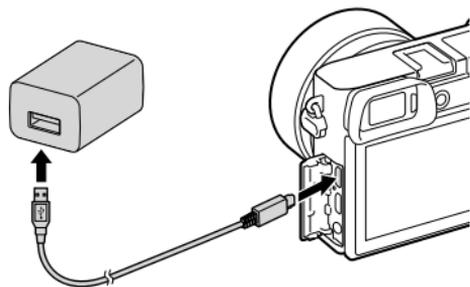
- アクセランプ点灯中は、メモリーカードやバッテリーを取り出さないでください。データやメモリーカードが壊れることがあります。

# バッテリー充電と使用可能枚数/時間

初めてお使いになるときは、バッテリーを充電してください。  
充電したバッテリーは、使わなくても少しずつ放電しています。撮影機会を逃さないためにも、ご使用前に充電してください。

## 1 バッテリーを入れた本機とACアダプター(付属)を マイクロUSBケーブル(付属)でつなぎ、ACアダプターをコンセントに差し込む。

- 充電は本機の電源を切った状態で行ってください。



充電ランプ  
点灯：充電中  
消灯：充電終了  
点滅：充電エラー、  
または温度が適切な  
範囲にないための充  
電一時待機

### 充電時間の目安(満充電)

約150分で充電できます。充電ランプが点灯後すぐに消える場合は満充電です。

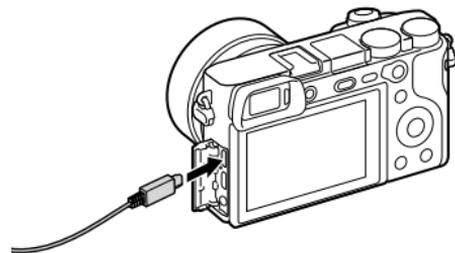
- 残量があるバッテリーも充電できます。
- バッテリー(付属)を使い切ってから、温度25℃の環境下で充電したときの時間です。使用状況や環境によっては、長くかかります。

## ご注意

- 充電ランプが点滅し充電が完了しなかった場合は、一度バッテリーを取りはずし、再度装着してください。
- バッテリーの充電は周囲の温度が10℃～30℃の環境で行ってください。
- ACアダプターは手近なコンセントを使用してください。本機を使用中、不具合が生じたときはすぐにコンセントからプラグを抜き、電源を遮断してください。
- 充電が終わったら、ACアダプターをコンセントから抜いてください。
- 必ずソニー製純正のバッテリー、付属のマイクロUSBケーブル、ACアダプターをお使いください。

## パソコンに接続して充電する

マイクロUSBケーブルを使って、パソコンからの充電も可能です。本機の電源を切った状態でつないでください。



← パソコンのUSB端子へ

## ご注意

- 電源を接続していないノートパソコンと本機を接続した場合、ノートパソコンの電池が消耗していきます。長時間放置しないでください。
- 本機をUSB接続したままパソコンの起動、再起動、スリープモードからの復帰、終了操作を行わないでください。本体が正常に動作しなくなることがあります。これらの操作は、パソコンから本機を取りはずしてから行ってください。
- すべてのパソコンでの動作を保証するものではありません。自作のパソコンや改造したパソコン、ハブ経由での充電は保証できません。また同時にお使いになるUSB機器によっては、正常に動作しないことがあります。

## バッテリーの使用時間と撮影/再生枚数

		使用時間	枚数
静止画撮影	モニター	－	約400枚
	ファインダー	－	約350枚
実動画撮影	モニター	約75分	－
	ファインダー	約70分	－
連続動画撮影	モニター	約115分	－
	ファインダー	約115分	－
静止画再生		約360分	約7100枚

### ご注意

- 撮影枚数は満充電されたバッテリーを使用した場合の目安です。撮影枚数は使用方法により減少する場合があります。
- 撮影枚数は、以下の条件で撮影した場合です。
  - － 当社製のメモリースティック PRO デュオ (Mark2) (別売)を使用
  - － E PZ 16-50mm F3.5-5.6 OSSレンズを使用
  - － 温度25℃の環境
  - － [ファインダー明るさ]：[マニュアル][±0]
  - － [モニター明るさ]：[マニュアル][±0]
  - － [表示画質]：[標準]
- 静止画撮影時の数値は、CIPA規格により、以下の条件で撮影した場合です。  
(CIPA: カメラ映像機器工業会、Camera & Imaging Products Association)
  - － DISP：[全情報表示]
  - － [フォーカスモード]：[AF制御自動切り換え]
  - － 30秒ごとに1回撮影
  - － 2回に一度、フラッシュを発光する。
  - － 10回に一度、電源を入/切する。
- 動画撮影時の数値は、CIPA規格により、以下の条件で撮影した場合です。
  - － 記録設定：XAVC S HD 60p 50M 25FPS
  - － 実動画撮影：撮影、ズーム、撮影スタンバイ、電源入/切を繰り返した場合の目安。
  - － 連続動画撮影：連続撮影の制限(29分)により撮影が終了したときは、再度 MOVIE(動画) ボタンを押して撮影を続ける。ズームなどその他の操作はしない。
- バッテリー残量が表示されない場合は、DISP(画面表示切換)を押して表示してください(41ページ)。

## 外部電源で本機を使う

付属のACアダプターを使って、コンセントから電力を供給しながら使用できます。

### 1 バッテリーを本機に入れる (20ページ)。

### 2 マイクロUSBケーブル(付属)とACアダプター(付属)で、本機とコンセントをつなぐ。

#### ご注意

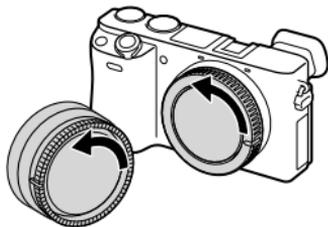
- バッテリーの残量がないと動作しません。充電したバッテリーを本機に入れてください。
- 外部電源で本機を使用する場合は、USB給電中を表すアイコン (🔌) がモニターに表示されていることをご確認のうえ、本機をご使用ください。
- 給電しながらのご使用中は、本機からバッテリーを取りはずさないでください。バッテリーを取りはずすと本機の電源が切れます。
- アクセスランプ (21ページ) が点灯しているときはバッテリーを取りはずさないでください。メモリーカード内のデータが破損するおそれがあります。
- 電源を入れて使用している間は、ACアダプターと接続していてもバッテリーへの充電はされません。
- ACアダプターと接続して使用していても、ご使用の条件によっては、補助的にバッテリーの電源を使用する場合があります。
- USB給電中はマイクロUSBケーブルを抜かないでください。マイクロUSBケーブルを抜くときは、本機の電源を切ってから抜いてください。
- USB給電中は、本体内の温度上昇により連続動画撮影時間が短くなることがあります。
- 外部電源としてモバイルチャージャーをご使用する際には、満充電であることを確認してからお使いください。またご使用中はモバイルチャージャーの残量にご注意ください。

# レンズを取り付ける/はずす

レンズの取り付け/取りはずしは、本機の電源を「OFF」にしてから行ってください。

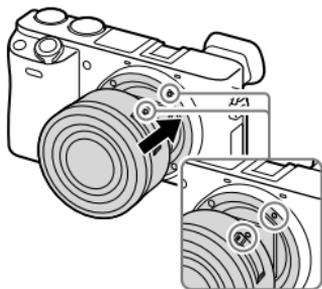
## 1 カメラやレンズに、キャップやカバーが付いている場合ははずす。

- カメラ内部にゴミやほこりが入らないように、ほこりの少ない場所で素早く行ってください。



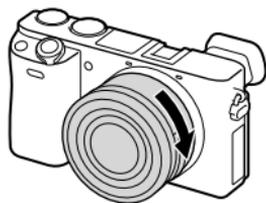
## 2 レンズと本機の2つの白色の点を合わせてはめ込む。

- ゴミやほこりが入らないよう、マウントを下向きにして取り付けてください。



## 3 レンズを軽く本機に押し付けながら、「カチッ」と音がするまで矢印の方向にゆっくり回す。

- レンズを斜めに差し込まないでください。

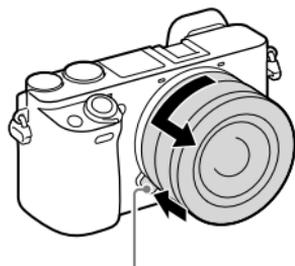


### ご注意

- レンズを取り付けるときは、レンズ取りはずしボタンを押さないでください。
- レンズに無理な力を加えないでください。
- Aマウントレンズ(別売)をご使用の場合は、マウントアダプター(別売)が必要です。詳しくはマウントアダプターの取扱説明書をご覧ください。
- 三脚座を備えたレンズを使用するときは、重量のバランスをとるためにレンズ側の三脚座を三脚に取り付けて使用してください。

## レンズを取りはずす

- 1 レンズ取りはずしボタンを押しながら、レンズを矢印の方向に止まるまで回して取りはずす。



レンズ取りはずしボタン

### ご注意

- レンズ交換の際に、カメラ内にゴミやほこりが入ってイメージセンサー（光を電気信号に変える部分）表面に付着すると、撮影条件によっては、ゴミやほこりが画像に写り込むことがあります。イメージセンサーはアンチダストコーティングにより、ゴミやほこりが付きにくくなっておりますが、レンズの取り付け/取りはずしを行う際は、ほこりの少ない場所で素早く行ってください。
- ゴミがイメージセンサーに付着した場合は、本機の[クリーニングモード]（94ページ）で自動クリーニングを実行し、必要に応じてブロアーで清掃してください。詳しくはヘルプガイドをご覧ください。
- レンズをはずした状態のまま、カメラを放置しないでください。
- ボディキャップ、レンズリヤキャップをご使用の際は、別売のALC-B1EM（ボディキャップ）、ALC-R1EM（レンズリヤキャップ）をご購入ください。
- 電動ズームレンズ使用時は、カメラのON/OFF（電源）スイッチを「OFF」にしてレンズが収納されたことを確認してから、レンズを交換してください。レンズが出たままの場合は無理やり押し込まないでください。
- 三脚に取り付ける場合、雲台（三脚座）にズーム/フォーカスリング部が干渉しないように取り付けてください。

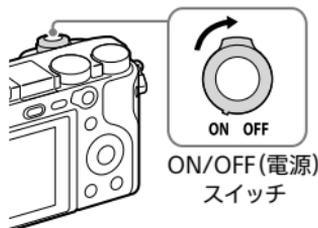
# 日付と時刻を設定する

初めて電源を入れたときや設定値リセットを行ったあとは、日時設定の画面が表示されます。

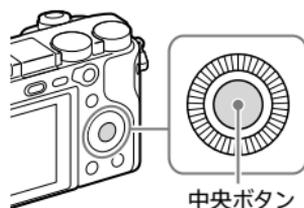
## 1 ON/OFF(電源)スイッチを「ON」にして、電源を入れる。

日時設定を要求する画面になる。

- 電源を切るときは、「OFF」にする。



## 2 モニターの表示で[実行]が選ばれていることを確認し、中央ボタンを押す。



## 3 [東京/ソウル]が選ばれていることを確認し、中央ボタンを押す。

## 4 コントロールホイールの▲/▼を押す、またはホイールを回して[日時]を選び、中央ボタンを押す。

[サマータイム:] : 日本では、サマータイムは[切]にする。

[表示形式:] : 日付表示順を選ぶ。

## 5 ▲/▼/◀/▶を押す、またはホイールを回して希望の設定を選び、中央ボタンを押す。

- [日時]を設定する場合、真夜中は12:00AM、正午は12:00PMとなる。
- [日時]を設定するときには、▲/▼を押して数値を変更する。

## 6 手順4、5を繰り返して、すべて設定し、[実行]を選んで中央ボタンを押す。

## 日時設定を中止するには

MENUボタンを押します。

### 日時やエリアを確認する/合わせ直す

日時設定画面は、初めて電源を入れたときや、内蔵バックアップ電池が消耗したときに自動で開きます。2回目以降はメニューで設定してください。

MENUボタン →  (セットアップ) →  
[日時設定]または[エリア設定]を選ぶ。



準備する

#### ご注意

- 本機には、画像に日付を挿入する機能はありません。PlayMemories Homeを使用すると、日付を入れて保存/印刷できます (Windows版のみ) (80ページ)。

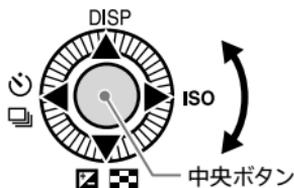
#### 設定した日時の保持について

本機は日時や各種の設定を電源の入/切やバッテリーの有無に関係なく保持するために、充電式バックアップ電池を内蔵しています (110ページ)。

# 操作方法を確認する

## コントロールホイールの使いかた

- コントロールホイールを回したり上下左右を押したりすると、選択枠を動かすことができます。選んだ項目は中央ボタンを押すと決定されます。本書ではコントロールホイールの上下左右を押す動作を▲/▼/◀/▶で表現しています。

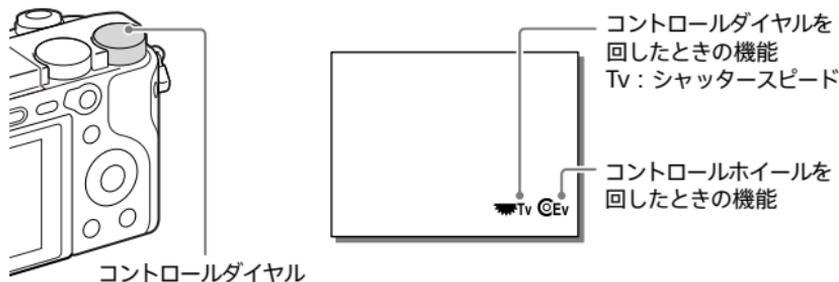


- コントロールホイールの▲/▼/◀/▶には下記の機能が割り当てられています。

DISP	画面表示切換 (DISP) (41ページ)
ISO	ISO感度 (57ページ)
📄	一覧表示 (76ページ)
📷	露出補正 (56ページ)
📷 / 📷	ドライブモード <ul style="list-style-type: none"><li>連続撮影/ブラケット (58ページ)</li><li>セルフタイマー (60ページ)</li></ul>
中央ボタン	フォーカススタンダード (64ページ)

- 撮影時の▼/◀/▶ボタンおよび中央ボタンにはお好みの機能を割り当てることができます (63ページ)。
- 再生時に、コントロールホイールの◀/▶を押す、またはホイールを回すことで前/次の画像を表示することができます (74ページ)。

## コントロールダイヤルの使いかた

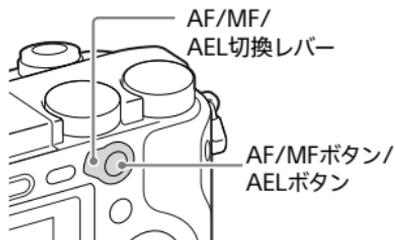


コントロールダイヤルを回して、撮影モードごとに必要な設定を即座に変更できます。

## AF/MF/AEL切替レバーの使いかた

AF/MF/AEL切替レバーの位置を変えることでAF/MF/AELボタンの機能をAF/MFボタンとAELボタンに切り換えることができます。

レバーを「AF/MF」に合わせてボタンを押すと、一時的にオートフォーカスとマニュアルフォーカスを切り換えます(AF/MFコントロール)。レバーを「AEL」に合わせてボタンを押すと、露出が固定されます(AEロック)。



# Fn(ファンクション)ボタンで選ぶ

Fn(ファンクション)ボタンにはよく使う機能を12個まで登録しておくことができ、撮影時に各機能の設定を変更できます。

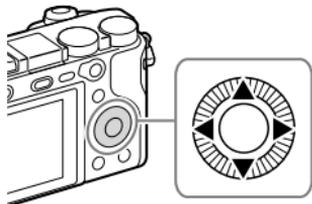
## 1 撮影画面でFn(ファンクション)ボタンを押す。



Fn(ファンクション)ボタン

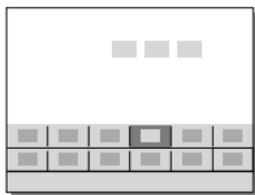
## 2 コントロールホイールの ▲/▼/◀/▶で設定する機能を選ぶ。

- 登録できる機能の一覧と登録方法は66ページをご覧ください。



## 3 コントロールホイールを回して希望の設定を選び、中央ボタンを押す。

一部の機能は、コントロールダイヤルを回して微調整値の設定もできます。



## 専用画面で設定するには

手順2で、設定する機能を選んで中央ボタンを押すと、その項目設定の専用画面になります。操作ガイドに従って設定してください。



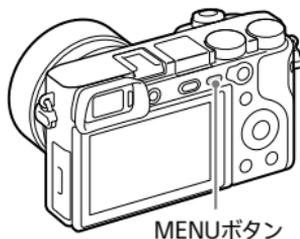
操作ガイド

# MENUボタンで選ぶ

撮影、再生、操作方法などカメラ全体に関する設定の変更や、機能の実行を行えます。

設定項目の一覧は83ページをご確認ください。

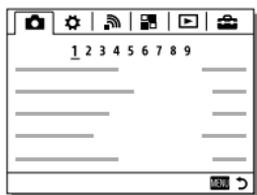
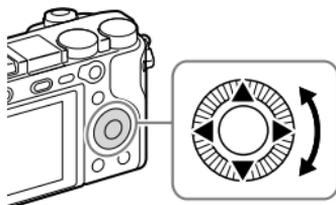
## 1 MENUボタンを押して、メニュー画面を表示する。



基本操作を確認する

## 2 コントロールホイールを回したり ▲/▼/◀/▶ を押したりして設定したい項目を選び、中央ボタンを押す。

- 画面上部のアイコンを選んで◀/▶を押すと他のMENUへ移動できます。



## 3 設定値を選択して、中央ボタンを押して決定する。

# カメラ内ガイドを見る

[カスタムキー(撮影)]で希望のボタンにカメラ内ガイドの機能を設定します。カメラ内ガイドでは、MENUの機能や設定に関する説明を表示しません。

---

**1 MENUボタン → ☆ (カスタム設定) → [カスタムキー(撮影)]  
→ 希望のボタン → [カメラ内ガイド]を選ぶ。**

- MENUボタンを押して、コントロールホイールで説明を見たい項目を選び、[カメラ内ガイド]を設定したボタンを押してください。
-

# 自動で最適な設定で撮る(オート撮影)

1 モードダイヤルを**AUTO**(オートモード)にする。

2 モニターを見るか、ファインダーをのぞいて本機を構える。

3 被写体の大きさを決める。

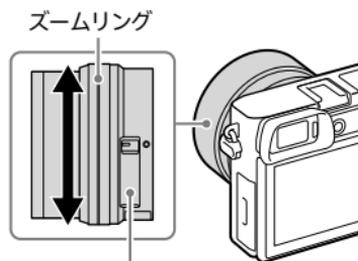
ズームレバー搭載レンズの場合：

ズームレバーを動かす。

ズームリング搭載レンズの場合：

ズームリングを動かす。

- 大きくズームしたい場合は、37ページをご覧ください。



ズームレバー(電動ズームレンズにのみ搭載されています。)

4 シャッターボタンを半押しして、ピントを合わせる。

ピントが合うと、●または(●) (フォーカス表示)が点灯する。



フォーカス表示

5 シャッターボタンを深く押し込む。

- 撮影直後に、撮影した画像が表示されます。シャッターボタンを半押しすると画像の表示を解除できます。

## 状況を自動判別して撮る(おまかせオート/ プレミアムおまかせオート)

モードダイヤルを**AUTO**(オートモード)にして、**i**📷(おまかせオート)または**i**📷+ (プレミアムおまかせオート)で撮影すると、カメラが自動でシーンを認識して最適な設定で撮影します。動画撮影中もシーンを認識します。

### シーン認識

カメラがシーンを認識すると、シーン認識マークと連続撮影枚数が表示されます。

[プレミアムおまかせオート]時は、認識したシーンに最適な撮影動作も表示されます。

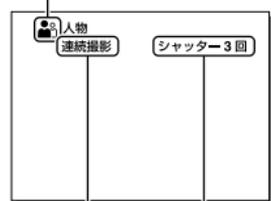
認識シーン：

- 🌙(夜景)、👤(手持ち夜景)、
- 🏔️(風景)、👤(逆光&人物)、
- 👤(人物)、📷(三脚夜景)、
- 📷(逆光)、📷(マクロ)、
- 👤(夜景&人物)、📷(スポットライト)、
- 🌙(低照度)、👤(赤ちゃん)

撮影動作：

- 連続撮影、スローシンクロ、オートHDR、日中シンクロ、
- スローシャッター、手持ち夜景

シーン認識マーク



撮影動作

連続撮影枚数

### モードを切り換えるには

メニューからオート撮影の方法を選べます。

MENUボタン → 📷(撮影設定) → [オートモード] → 希望の設定を選ぶ。

### ご注意

- [おまかせオート]、[プレミアムおまかせオート]の場合、多くの機能が自動設定となり、自分で変更できません(96ページ)。
- [プレミアムおまかせオート]では、暗いシーンや逆光のシーンのとき、複数枚撮影し重ね合わせ処理を行うため、記録に時間がかかることがあります。また、このとき、シャッター音が複数回聞こえる場合がありますが、記録される画像は1枚です。

# ズームする

本体側のズーム機能を使って、レンズの光学ズームの倍率以上に拡大して撮影できます。

## 1 MENUボタン → (カスタム設定) → [ズーム設定] → 希望の設定を選ぶ。

光学ズームのみ：  [画像サイズ] が L のときは、光学ズームのみを使用する。

 [画像サイズ] が L 以外のときは、光学ズーム倍率を超えても、トリミング処理により画質を劣化させずにズームする (s  スマートズーム)。

入：全画素超解像ズーム：光学ズーム倍率、スマートズーム倍率を超えても、ほとんど画質を劣化させずにズームする (c  )。

入：デジタルズーム：全画素超解像ズーム倍率を超えても、さらに高倍率でズームする (p  )。ただし画質は劣化する。

### ご注意

-  [画質] が [RAW]、[RAW+JPEG] のときは光学ズームのみ使用できます。

## 2 ズームする (35ページ)。

- [ズーム設定] を [入：全画素超解像ズーム] または [入：デジタルズーム] に設定していると、電動ズームレンズ装着時、光学ズーム倍率を超えると自動的に本体側のズームに移行します。
- 手動ズームレンズ装着時は、ズームリングで光学ズームを最大まで使用した後に、以下の手順で本体側のズームを使います。

MENUボタン →  (撮影設定) → [ズーム] → 希望の数値を選ぶ。

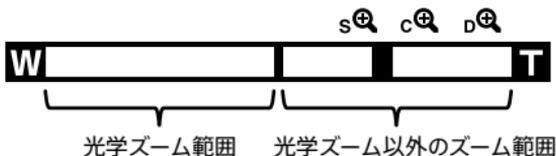
### ご注意

- ご使用の電動ズームレンズによって、ズームスピードは異なります。撮影前に動作を確認することをおすすめします。

## 撮影のテクニック

- [カスタムキー(撮影)]で希望のボタンに[ズーム]を設定しておくと、手動ズームレンズ装着時に、ボタンを押すだけで本体側のズームに移行します(63ページ)。

## ズームバーの表示について



## ズーム倍率

画像サイズによって、レンズの光学ズームに組み合わせられるズーム倍率は変わります。

[横縦比]が[3:2]のとき

ズーム設定 画像サイズ	光学ズームのみ (スマートズーム)	入：全画素超解像 ズーム	入：デジタルズーム
L:24M	—	2倍	4倍
M:12M	1.4倍	2.8倍	5.7倍
S:6.0M	2倍	4倍	8倍

# フラッシュ撮影する

## 1 ⚡(フラッシュポップアップ)ボタンを押してフラッシュ発光部を上げる。

- フラッシュ使用後は、手でフラッシュ発光部を下げてください。



⚡(フラッシュポップアップ)ボタン

## 2 MENUボタン → 📷(撮影設定) → [フラッシュモード] → 希望の設定を選ぶ。

🚫(発光禁止)：発光しない。

⚡(自動発光)：暗い場所、または逆光のとき、自動で発光する。

⚡(強制発光)：必ず発光する。

🐢(スローシンクロ)：必ず発光する。暗い場所ではシャッタースピードを遅くし、フラッシュが届かない背景も明るく撮影する。

⚡(後幕シンクロ)：露光が終わる直前のタイミングで必ず発光する。走っている自動車など動いている被写体を撮ると、動きの軌跡が自然な感じに撮れる。

📶(ワイヤレス)：別売のワイヤレスフラッシュを使って、被写体に陰影を付けて立体感を出して撮れる。本機にコントローラー対応外部フラッシュ(別売)を取り付け、別のワイヤレスフラッシュ(別売)を本機から離れたところに設置して撮影する。

### ご注意

- 発光させるためには、設定後もフラッシュ発光部がポップアップした状態で撮影してください。フラッシュ発光部が下がっていると発光しません。
- ズームをW側にしてフラッシュ撮影すると、撮影状況によってはレンズの影が写ることがあります。この場合は被写体から離れて撮影するか、ズームをT側にしてフラッシュ撮影してください。

## フラッシュ光の届く距離(約)

ISO感度と絞り値によってフラッシュ光が届く距離が変わります。

	F2.8	F3.5	F5.6
ISO 100	1 m~2.1 m	1 m~1.7 m	1 m~1.1 m
ISO 3200	4 m~12 m	3.2 m~9.7 m	2 m~6 m

## 使用可能なフラッシュモード

設定している撮影モードや機能によって、選べるフラッシュモードが異なります。

下の表で○は選択可能、×は選択不可能を表しています。

選択できないフラッシュモードはグレーで表示されます。

撮影モード/その他設定						
<b>i</b> (おまかせオート)	○	○	○	×	×	×
<b>i</b> <sup>+</sup> (プレミアムおまかせオート)	○	○	○	×	×	×
<b>P</b> (プログラムオート)	×	×	○	○	○	○
<b>A</b> (絞り優先)	×	×	○	○	○	○
<b>S</b> (シャッタースピード優先)	×	×	○	○	○	○
<b>M</b> (マニュアル露出)	×	×	○	○	○	○
 (動画/ハイフレームレート) *	○	×	×	×	×	×
 (スイングパノラマ) *	○	×	×	×	×	×
シーン セレクション		○	○	○	×	×
		○	×	○	×	×
		○	×	×	×	×
		×	×	×	○	×

\* これらの撮影モードではフラッシュ撮影はできません。

### ご注意

- モードダイヤルが1または2(登録呼び出し)のときは、登録した設定によって選べるフラッシュモードが変わります。

# 画面の表示を変える(DISP)

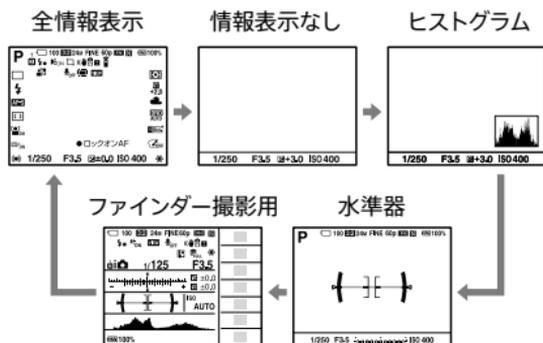
撮影情報画面の表示は、お買い上げ時はコントロールホイールのDISPを押すたびに下記のように切り替わります。

ファインダー表示を変更する場合には、ファインダーをのぞきながらDISPを押してください。

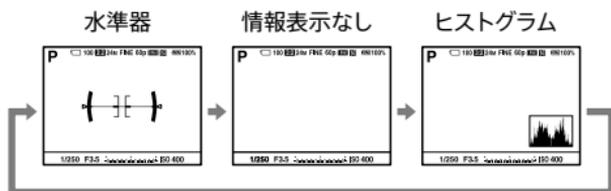


- 撮影時に選択できるモードはMENUボタン →  (カスタム設定) → [DISPボタン]で設定できます。

## 撮影時(モニター)

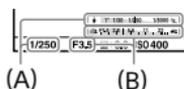


## 撮影時(ファインダー)



- 表示内容や表示位置は目安であり、実際とは異なる場合があります。

**グラフィック表示:**基本的な撮影情報を表示。シャッタースピードと絞り値をグラフィカルに表現し露出の仕組みを分かりやすくイメージ化して表現する。シャッタースピードインジケータ(A) / 絞りインジケータ(B)のバーが現在の位置を指す。

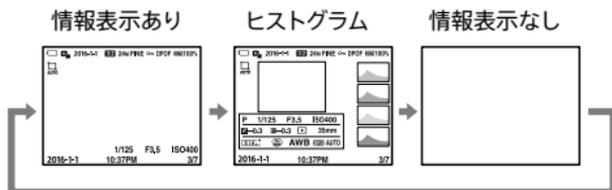


**水準器:**カメラの傾きを示す指標を表示。水平状態のときは緑色に変わる。

**ヒストグラム:**画像の明暗をグラフ(ヒストグラム)で表示。

**ファインダー撮影用:**Fnボタンを押すと、変更したい項目をダイレクトに操作できます。コントロールホイールの▲/▼/◀/▶を押して設定する機能を選び、コントロールホイールを回して希望の設定にしてください(クイックナビ)。

## 再生時(モニター/ファインダー)



- 表示内容や表示位置は目安であり、実際とは異なる場合があります。

**情報表示あり:**撮影時の情報を表示する。

**ヒストグラム:**撮影時の情報とヒストグラムを表示する。

**情報表示なし:**撮影時の情報を表示しない。

- 画像に白とびまたは黒つぶれの箇所がある場合、ヒストグラム画面の画像の該当箇所が点滅します。(白とび黒つぶれ警告)
- 再生時の設定は、オートレビューでも反映されます。

## ご注意

- 画面上の補助線(静止画撮影時のグリッドラインや動画撮影時のマーカー)はDISPを押しても消せません。MENUボタン → ⚙(カスタム設定) → [グリッドライン]または[マーカー表示]で設定を変えてください。

# 画像のサイズを選ぶ

画像サイズは画像を記録するときの大きさのことです。

画像サイズが大きいほど、大きな用紙にも詳細にプリントできますが、ファイルサイズが大きくなります。画像サイズを小さくすると、ファイルサイズも小さくなりたくさん撮影できます。

## 1 MENUボタン → (撮影設定) → [ 画像サイズ] または [パノラマ：画像サイズ] → 希望の設定を選ぶ。

- 横縦の比率は、MENUボタン →  (撮影設定) → [ 横縦比] で選びます。

画像サイズ ([  横縦比] が [3:2] のとき)		用途例
L:24M	6000 × 4000画素	A3ノビサイズまでの印刷
M:12M	4240 × 2832画素	A3サイズまでの印刷
S:6.0M	3008 × 2000画素	L/2L/A4サイズまでの印刷

画像サイズ ([  横縦比] が [16:9] のとき)		用途例
L:20M	6000 × 3376画素	ハイビジョンテレビでの再生
M:10M	4240 × 2400画素	
S:5.1M	3008 × 1688画素	

パノラマ：画像サイズ	説明
標準	上下：3872×2160 左右：8192×1856
ワイド	上下：5536×2160 左右：12416×1856

### ご注意

- [ 画質] が [RAW]、[RAW+JPEG] のとき、RAW画像の画像サイズはL相当となります。
- [16:9] や [スイングパノラマ] で撮影した静止画画像は、プリント時に両端が切れることがあります。

## 画質を選ぶ(RAW/JPEG)

### 1 MENUボタン → (撮影設定) → 画質 → 希望の設定を選ぶ。

**RAW** : デジタル処理などの加工をしていないファイル形式。専門的な用途に合わせて、パソコンで加工するときを選ぶ。

- パソコンでの加工にはImage Data Converterを使用してください(79ページ)。

**RAW+JPEG** : RAW画像とJPEG画像が同時に記録される。閲覧用にはJPEG画像、編集用にはRAW画像というように、両方の画像を記録したい場合に適している。JPEGの画質は[ファイン]になる。

**エクストラファイン / ファイン / スタンダード** : 画像がJPEG形式で圧縮されて記録される。[エクストラファイン]、[ファイン]、[スタンダード]の順で圧縮率が大きくなり、1枚のメモリーカードに記録できる枚数は増えるが、画質は劣化する。

### ご注意

- [RAW]または[RAW+JPEG]のとき、以下の機能は使用できません。
  - 光学ズーム以外のズーム
  - [マルチショットNR]
  - [オートHDR]
  - [ピクチャーエフェクト]
  -  オートフレーミング
- [RAW]または[RAW+JPEG]の場合はデータ量が多いため、1枚のメモリーカードに記録できる枚数がJPEG形式より少なくなります。
- 本機で撮影したRAW画像は、1ピクセルに対して14ビットの分解能を持っています。ただし、以下の撮影時は、12ビットの分解能に制限されます。
  - 長秒時ノイズリダクション
  - バルブ撮影
  - 連続撮影(プレミアムおまかせオート時の複数枚連写なども含む)
  - サイレント撮影

# 撮影モードを変える(モードダイヤル)

撮りたい被写体や、操作したい機能に合わせて、モードダイヤルで撮影モードを設定します。

## 1 モードダイヤルを回して希望のモードを選ぶ。



本機には、以下の撮影モードがあります。

<b>AUTO</b> (オートモード) (35)	<b>i</b> (おまかせオート) <b>i+</b> (プレミアムおまかせオート)	カメラまかせでシーン認識をして撮影する。 カメラまかせでシーン認識をして撮影する。特に暗いシーンや逆光のシーンをよりきれいに撮影できる。
<b>P</b> (プログラムオート)		露出(シャッタースピードと絞り)は自動設定される。ホワイトバランスやISOなど多彩な機能を設定できる。さらに、コントロールダイヤルを回すと、カメラが設定した適正露出のままシャッタースピードと絞りの組み合わせを変更できる(P* プログラムシフト)。
<b>A</b> (絞り優先) (47)		背景をぼかしたいときなど、絞り値を設定して撮影する。
<b>S</b> (シャッタースピード優先) (48)		動きの速いものを撮るときなど、シャッタースピードを設定して撮影する。
<b>M</b> (マニュアル露出) (49)		シャッタースピードと絞りを手動で設定して、好みの露出で撮影できる。
<b>1/2</b> (登録呼び出し) (63)		あらかじめ登録しておいた、よく使うモードやカメラの設定を呼び出して撮影できる。
<b>🎬</b> (動画/ハイフレームレート) (71)		動画撮影やハイフレームレート撮影に関するモードや設定の変更ができる。
<b>📷</b> (スイングパノラマ)		画像を合成してパノラマ画像を撮影できる。
<b>SCN</b> (シーンセレクション) (46)		撮影条件に合わせて、あらかじめ用意された設定で撮影する。

# 場面にあった撮影モードを使う (シーンセレクション)

---

1 モードダイヤルをSCN(シーンセレクション)にする。

---

2 コントロールダイヤルを回して希望のシーンを選ぶ。

 (ポートレート) : 背景をぼかして、人物を際立たせる。肌をやわらかに再現する。

 (スポーツ) : 高速なシャッタースピードで動く物が止まったように撮れる。シャッターボタンを押し続けると連続撮影する。

 (マクロ) : 花などに近づいて撮影する。

 (風景) : 風景を手前から奥までくっきりと鮮やかな色で撮る。

 (夕景) : 夕焼けや朝焼けなどの赤を美しく撮る。

 (夜景) : 暗い雰囲気損なわずに、夜景を撮る。

 (手持ち夜景) : 三脚を使わずにノイズが少ない夜景を撮る。連写を行い、画像を合成して被写体ブレや手ブレ、ノイズを軽減して記録する。

 (夜景ポートレート) : 夜景を背景に手前の人物を撮る。フラッシュ発光部を上げて使う。

 (人物ブレ軽減) : 室内で人物撮影する場合、フラッシュを使わずにブレを軽減する。連写を行い、画像を合成して被写体ブレやノイズを軽減して記録する。

---

# 絞りとシャッタースピードを好みの設定にする

## 背景のぼかし具合を調節して撮る(絞り優先)

ピントの合う範囲や、背景のぼかし具合を変えて撮影できます。

- 1 モードダイヤルをA(絞り優先)にする。
- 2 コントロールダイヤルを回して、絞り値(F値)の設定値を選ぶ。
- 3 シャッターボタンを押す。

### 絞りについて

F値を小さくする(絞りを開ける)と、ピントの合う範囲は前後に狭くなり、背景をぼかして、被写体をくっきりと表現できます。



F値を大きくする(絞りを閉じる)と、ピントの合う範囲は前後に広がり、風景の広がりを表現できます。



### ご注意

- 設定後に適正露出が得られない場合、モニターの設定値表示が点滅します。そのまま撮影できますが、設定し直すことをおすすめします。

## 動くものの表現を変えて撮る(シャッタースピード優先)

シャッタースピードを手動で調節できます。

- 1 モードダイヤルをS(シャッタースピード優先)にする。
- 2 コントロールダイヤルを回して、シャッタースピードの設定値を選ぶ。
- 3 シャッターボタンを押す。

### シャッタースピードについて

シャッタースピードを速くすると、走っている人や車、波しぶきなどの動きのあるものが止まって見えます。



シャッタースピードを遅くすると、川の流れなどの軌跡が残り、より自然な流動感のある画像になります。



### ご注意

- 設定後に適正露出が得られない場合、モニターの設定値表示が点滅します。そのまま撮影できますが、設定し直すことをおすすめします。

## 思い通りの露出で撮る(マニュアル露出)

シャッタースピードと絞り(F値)を調節して、好みの露出で撮影します。

### 1 モードダイヤルをM(マニュアル露出)にする。

### 2 シャッタースピードを調整するときはコントロールホイールを回し、絞り値を選ぶときはコントロールダイヤルを回す。

- [ISO感度]が[ISO AUTO]以外の場合、設定した露出と本機が判断した適正露出の差がモニター上の (メータードマニユアル)で確認できます。

### 3 シャッターボタンを押す。

#### ご注意

- 設定後にメータードマニユアルの測光範囲を超えている場合は、メータードマニユアルの値が点滅します。
- [ISO感度]を[ISO AUTO]に設定したときには、設定した絞り値とシャッタースピードで適正露出になるようにISO感度が変化します。メータードマニユアルは表示されません。適正露出にならないと本機が判断した場合は、ISO感度が点滅します。

## BULB(バルブ)撮影で動きの軌跡を撮る

モードダイヤルをM(マニュアル露出)にしてから、シャッタースピードの設定時に、[BULB]と表示されるまでコントロールホイールを左に回してください。シャッターボタンを押し続けている間撮影します。

- 花火の光が尾を引くような写真や、星の軌跡の撮影に適しています。
- 画像がブレやすくなるため、三脚や、シャッターボタンのロック機能を持つ、マルチ端子対応リモートコマンダー(別売)のご使用をおすすめします。

#### ご注意

- 以下のときは、[BULB]に設定できません。
  - [スマイルシャッター]
  - [DRO/オートHDR]が[オートHDR]
  - [ISO感度]が[マルチショットNR]
  - [ピクチャーエフェクト]が[絵画調HDR]、[リッチトーンモノクロ]
  - [ドライブモード]が[連続撮影]、[セルフタイマー(連続)]、[連続ブラケット]
  - [サイレント撮影]

# ピントを合わせる

## ピント合わせの方法を選ぶ

### 1 MENUボタン → (撮影設定) → [フォーカスモード] → 希望の設定を選ぶ。

**AF-S (シングルAF)**：ピントが合った時点でピントを固定する。止まっているものの撮影に適している。

**AF-A (AF制御自動切り換え)**：被写体の動きに応じて、シングルAFとコンティニューアスAFが切り替わる。  
シャッターボタンを半押しすると、被写体が静止していると判断したときはピント位置を固定し、被写体が動いているときはピントを合わせ続ける。

**AF-C (コンティニューアスAF)**：シャッターボタン半押しの間、ピントを合わせ続ける。動いているものの撮影に適している。合焦音は鳴りません。

**DMF (DMF)**：手動によるピント合わせとオートフォーカスを組み合わせることができる。

**MF (マニュアルフォーカス)**：手動でピントを合わせる。

- 手動でピントを合わせるときは、DMFまたはMFを選び、レンズのフォーカスリングを回します。オートフォーカスで意図した被写体にピントが合わないときには、MFで操作してください(52ページ)。

### ご注意

- [コンティニューアスAF]のときは、シャッターボタン半押しの間はピントを合わせ続けるため画像が揺らぐことがあります。故障ではありません。

## ピントを合わせるエリアを選ぶ(フォーカスエリア)

ピント合わせの位置を変更します。ピントが合いにくいときなどに使用してください。静止画撮影、動画撮影は同じ設定が反映されます。

### 1 MENUボタン → (撮影設定) → [フォーカスエリア] → 希望の設定を選ぶ。

 (ワイド)	モニター全体を基準に、自動でピントを合わせる。
 (ゾーン)	モニター上でピントを合わせたいゾーンの位置を選ぶと、その中で自動でピントを合わせる。
 (中央)	常に中央部のフォーカスエリアでピントを合わせる。
 (フレキシブルスポット)	モニター上の好きなところに測距枠を移動し、非常に小さな被写体や狭いエリアを狙ってピントを合わせる。
 (拡張フレキシブルスポット)	フレキシブルスポットの周囲のフォーカスエリアをピント合わせの第2優先エリアとして、選んだ1点でピントが合わせられない場合に、この周囲のフォーカスエリアを使ってピントを合わせる。
  (ロックオンAF)	シャッターボタンを半押しすると、選択されたAFエリアから被写体を追尾する。 フォーカスエリア設定画面でロックオンAFにカーソルを合わせて、◀/▶でロックオンAFの開始エリアを変更できる。追尾開始エリアをフレキシブルスポットまたは拡張フレキシブルスポットにすると、好きなところに追尾開始エリアを移動することもできる。

#### 撮影のテクニック

- ・ [フォーカスエリア]が[ゾーン]、[フレキシブルスポット]または[拡張フレキシブルスポット]のときに、[フォーカススタンダード]が割り当てられているボタンを押すと、コントロールホイールの▲/▼/◀/▶で測距枠の位置を変更しながら撮影できます。コントロールホイールを使って撮影設定などを変更する場合は、中央ボタンを押してください。
- ・ [シングルAF]での撮影時、[ワイド]で被写体にピントが合わない場合は、[中央]にしてピントを合わせたい被写体に測距枠を合わせ、シャッターボタンを半押ししてピントを固定してください。そのまま撮りたい構図に戻して撮影してください(フォーカスロック)。

## ご注意

- [ロックオンAF]は[フォーカスモード]が[コンティニユアスAF]のときのみ選べます。
- モードダイヤルが $\square$  (動画/ハイフレームレート)になっているときや動画撮影中は、[フォーカスエリア]の[ロックオンAF]は選択できません。
- 全画素超解像ズーム・デジタルズーム・スマートズーム領域では、画面全体を使ってピントを合わせることがあり、その際には点線の四角い枠が全体に表示されます。
- 測距枠の移動中は、コントロールホイールの $\blacktriangle$ / $\blacktriangledown$ / $\blacktriangleleft$ / $\blacktriangleright$ またはカスタムボタン2に割り当てられた機能を実行できません。

## 位相差AFについて

使用するオートフォーカスエリア内に位相差AF測距点があると、位相差AFとコントラストAFをかけ合わせたオートフォーカスになります。

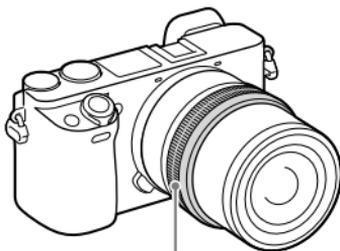
## ご注意

- 絞り値がF13以上のときは、位相差AFを使用できません。コントラストAFのみになります。
- 位相差AFは、対応レンズでのみ使用できます。位相差AFに対応していないレンズを使用すると[AF制御自動切り換え]、 $\square$  [AF追従感度]、 $\square$  [AF駆動速度]が使用できません。  
また、過去にご購入されたレンズなどでは、対応レンズであっても、レンズをアップデートしないと位相差AFが動作しない場合があります。対応レンズは、専用サポートサイトでご確認ください。  
<http://www.sony.jp/support/ichigan/>

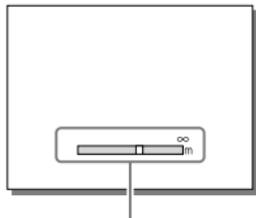
## ピントを手動で好みの位置に合わせる (マニュアルフォーカス)

- 1 MENUボタン →  (撮影設定) → [フォーカスモード] → [マニュアルフォーカス]を選ぶ。

## 2 レンズのフォーカスリングを回してピントを調整する。



フォーカスリング



ピントを合わせる距離

### DMFを使ってピントを合わせる

DMFでは以下のように、手動によるピント調整とオートフォーカスを組み合わせることができます。

- オートフォーカスでピントを合わせたあと、手動でピントを微調整すると、厳密なピント合わせをしたい被写体などに有効です。シャッターボタンを半押ししたまま、フォーカスリングを回します。

#### 撮影のテクニック

- [MFアシスト]を使うと、マニュアルフォーカスやDMFのピントの調整時に、画像を自動で拡大表示してピントを合わせやすくします(87ページ)。拡大表示中に中央ボタンを押すと拡大倍率を変更できます。
- [ピーキングレベル]を使うと、マニュアルフォーカス撮影のときに、ピントが合った部分の輪郭を指定した色で強調します。ピントを確認しやすくなります(88ページ)。

# 好みの画像の仕上がりで撮る (クリエイティブスタイル)

1 モードダイヤルをP(プログラムオート)、A(絞り優先)、S(シャッタースピード優先)、M(マニュアル露出)またはM<sub>II</sub>(動画/ハイフレームレート)にする。

2 MENUボタン →  (撮影設定) → [クリエイティブスタイル] → 希望のクリエイティブスタイルまたは**Std.** (スタイルボックス)を選ぶ。

- スタイルボックスを使えば、同じスタイルでも微妙に設定を変えて呼び出すことができます。

**Std.** (スタンダード) : さまざまなシーンを豊かな階調と美しい色彩で表現する。

**Vivid** (ビビッド) : 彩度とコントラストが高めになる。

**Natural** (ニュートラル) : 彩度・シャープネスが低くなる。

**Clear** (クリア) : ハイライト部分の抜けがよく、透明感のある雰囲気になる。

**Deep** (ディープ) : 濃く深みのある色再現にする。

**Light** (ライト) : 明るく、すっきりとした色再現にする。

**Portrait** (ポートレート) : 肌をより柔らかくに再現する。

**Land.** (風景) : 彩度、コントラスト、シャープネスがより高くなり、鮮やかでメリハリのある風景に再現する。

**Sunset** (夕景) : 夕焼けの赤さを美しく表現する。

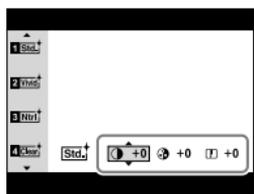
**Night** (夜景) : コントラストがやや低くなり、見た目の印象により近い夜景に再現する。

**Autumn** (紅葉) : 紅葉の赤、黄をより鮮やかに表現する。

**B/W** (白黒) : 白黒のモノトーンで表現する。

**Sepia** (セピア) : セピア色のモノトーンで表現する。

3 ①(コントラスト)、②(彩度)、  
③(シャープネス)を調整したいと  
きは、コントロールホイールの◀/▶  
で希望の項目を選び、▲/▼で値を  
選ぶ。



- スタイルボックスのときは希望のクリエイティブスタイルも選べます。

# 明るさを調整する(露出補正)

通常の撮影設定では、露出が自動的に設定されます(自動露出)。自動露出で設定された露出値を基準に、+側に補正すると、画像全体を明るく、-側に補正すると、画像全体を暗くできます(露出補正)。

## 1 コントロールホイールの

**☑(露出補正) → ◀/▶を押す、またはホイールを回して希望の補正値を選ぶ。**



+ (オーバー)側：画像が明るくなる。

- (アンダー)側：画像が暗くなる。

- コントロールホイールに他の機能が割り当てられている場合は、MENU ボタン →  (撮影設定) → [露出補正]から選べます。

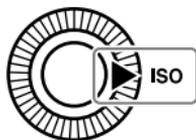
## ご注意

- 撮影モードが以下の場合、露出補正できません。
  - [おまかせオート]
  - [プレミアムおまかせオート]
  - [シーンセレクション]
  - [マニュアル露出]で[ISO感度]が[ISO AUTO]以外

# ISO感度を選ぶ

1 モードダイヤルをP(プログラムオート)、A(絞り優先)、S(シャッタースピード優先)、M(マニュアル露出)、またはM(動画/ハイフレームレート)にする。

2 コントロールホイールのISO(ISO感度) → 希望の設定を選ぶ。



- コントロールホイールに他の機能が割り当てられている場合は、MENUボタン →  (撮影設定) → [ISO感度] から選べます。

 (マルチショットNR)：連続撮影により写真を重ね合わせ、ノイズの少ない画像を撮影する。

▶で設定画面を表示して、▲/▼で希望の数値を選ぶ。

 (ISO AUTO)：カメラが明るさに応じた感度を自動で設定する。▶で設定画面を表示して、ISO AUTO時の上限値、下限値を設定することもできる。

ISO 100~ISO 51200：お好みの感度をマニュアルで設定する。数値が大きいくらいほど高感度になる。

## ご注意

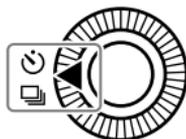
- 静止画撮影時と動画撮影時で、選べる設定が異なります。
- [マルチショットNR]に設定しているときは、重ね合わせ処理をするため、記録処理に時間がかかります。また、フラッシュは発光しません。
- [ピクチャープロフィール]が[切]以外のとき、[マルチショットNR]は設定できません。

# 連続して撮る(連写/ブラケット)

1枚撮影、連続撮影、ブラケット撮影など、撮影の目的に合わせて使用してください。

## 1 コントロールホイールの

☺/☒(ドライブモード) → 希望のモードを選ぶ。



- コントロールホイールに他の機能が割り当てられている場合は、MENUボタン →  (撮影設定) → [ドライブモード] から選べます。
- さらに詳細な設定ができるモードを選んだ場合は、◀/▶で希望の設定を選びます。

 (1枚撮影) : 通常の撮影方法。

 (連続撮影) : シャッターボタンを押している間、連続して撮影する。  
[連続撮影 : Hi+]では、最高速で連続撮影できる。[連続撮影 : Hi]、  
[連続撮影 : Mid]または[連続撮影 : Lo]では、連続撮影中もモニターまたはファインダーに被写体をリアルタイムに映し続けるため、被写体を追従しやすくなる。

**BRK C (連続ブラケット)** : 露出を段階的にずらして、合計3枚、5枚または9枚の画像を連続して記録する。露出の段数は設定できる。

**BRK S (1枚ブラケット)** : 露出を段階的にずらして、合計3枚、5枚または9枚の画像を1枚ずつ撮影する。

**BRK WB (ホワイトバランスブラケット)** : 選択されているホワイトバランス、色温度・カラーフィルターの値を基準に、段階的にずらして、合計3枚の画像を記録する。[Lo]または[Hi]からずらす値の幅を選ぶ。

**BRK DRO (DROブラケット)** : Dレンジオプティマイザーの値を段階的にずらして、合計3枚の画像を記録する。[Lo]または[Hi]からずらす値の幅を選ぶ。

## ご注意

- フラッシュ発光時は[連続ブラケット]を選んでいても、調光量をずらして撮影するフラッシュブラケットになります。1枚ずつシャッターボタンを押して撮影してください。
- [電子先幕シャッター]が[切]の場合、連続撮影の速度が遅くなります。
- 以下のときは、連続撮影、ブラケット撮影ができません。
  - 撮影モードが[スイングパノラマ]
  - [シーンセレクション]の[スポーツ]以外\*
  - [ピクチャーエフェクト]が[ソフトフォーカス]、[絵画調HDR]、[リッチトーンモノクロ]、[ミニチュア]、[水彩画調]、[イラスト調]
  - [DRO/オートHDR]が[オートHDR]
  - [ISO感度]が[マルチショットNR]
  - [スマイルシャッター]
- \* [シーンセレクション]が[スポーツ]の場合もブラケット撮影はできません。

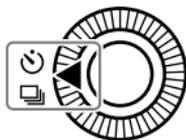
## ブラケット撮影の設定を変更するには

MENUボタン →  (撮影設定) → [ブラケット設定] を選ぶと、ブラケットモード時のセルフタイマー撮影や、露出ブラケット/ホワイトバランスブラケットの撮影順序を設定できます。

# セルフタイマーで撮る

## 1 コントロールホイールの

☺/☐(ドライブモード) → 希望のモードを選ぶ。



- コントロールホイールに他の機能が割り当てられている場合は、MENUボタン → 📷(撮影設定) → [ドライブモード] から選べます。
- さらに詳細な設定ができるモードを選んだ場合は、◀/▶で希望の設定を選びます。

☺(セルフタイマー) : 5秒/10秒セルフタイマーは撮影者も一緒に写真に入るときに、2秒セルフタイマーは撮影の際のカメラブレを和らげるのに使う。シャッターボタンを押すと、セルフタイマーランプが点滅して「ピッピッピッ」と電子音が鳴り、撮影が開始される。中断するにはもう一度シャッターボタンを押す。

☺☺(セルフタイマー(連続)) : シャッターボタンを押してから指定した秒数が経過した後に連写撮影する。3枚または5枚から撮影枚数を選ぶ。

## セルフタイマーを解除するには

☺/☐を押して☐(1枚撮影)を選んでください。

### 撮影のテクニック

- ブラケット撮影時のセルフタイマーを設定するには、[ドライブモード]でブラケットを選択して、MENUボタン → 📷(撮影設定) → [ブラケット設定] → [ブラケット時のセルフタイマー]を選んでください。

### ご注意

- 以下のときは、セルフタイマーを使えません。
  - 撮影モードが[スイングパノラマ]
  - 撮影モードが[シーンセレクション]の[スポーツ]
  - [スマイルシャッター]

# 動きの速い被写体をよりなめらかに表示する

静止画撮影時のファインダーのフレームレートを変更することで、よりなめらかな映像を表示することができます。動きの速い被写体を撮影するときに便利です。

## 1 MENUボタン → ☆(カスタム設定) →

[ファインダーフレームレート] → [120fps]を選ぶ。

- [カスタムキー(撮影)]で希望のキーにこの機能を割り当てることもできます(63ページ)。

### ご注意

- [ファインダーフレームレート]を[120fps]に設定すると、ファインダーの解像度が低くなります。
- 以下のモードでは、 [ファインダーフレームレート]は[60fps]に固定されます。
  - 再生時
  - 動画撮影時
  - HDMI接続時

# シャッター音を消して撮影する (サイレント撮影)

1 MENUボタン → ☆(カスタム設定) → [サイレント撮影] → 希望の設定を選ぶ。

## ご注意

- サイレント撮影機能は、被写体のプライバシーや肖像権に充分ご配慮のうえ、お客様自身の責任においてお使いください。
- [サイレント撮影]を[入]に設定しても、完全に無音にはなりません。絞りやフォーカスの駆動音は発生します。
- 低感度のサイレント撮影時、極端に強い光源にカメラを向けると、画面内の高輝度部分が黒っぽく撮影されることがあります。
- 電源オフ時、まれにシャッター音が鳴る場合がありますが、故障ではありません。
- 被写体の動きやカメラ本体の動きによって画像に歪みが発生することがあります。
- 瞬間的な光(他のカメラのフラッシュ発光など)や蛍光灯などのちらつきのある照明下で撮影した場合、帯状の明暗が撮影されることがあります。
- ピントが合ったときや、セルフタイマー作動時などの電子音を消したいときは[電子音]の設定を[切]にしてください。
- 以下の場合、[サイレント撮影]を[入]にしても、シャッター音が鳴ります。
  - [ホワイトバランス]が[カスタムセット]の場合
  - [個人顔登録]
- モードダイヤルがP/A/S/M以外のときは[サイレント撮影]は選択できません。
- [サイレント撮影]が[入]の場合、以下の機能は使用できません。  
フラッシュ撮影/オートHDR/ピクチャーエフェクト/ピクチャープロフィール/長秒時NR/電子先幕シャッター/プレミアムオート画像抽出/バルブ撮影/マルチショットNR
- [サイレント撮影]が[入]の場合、連続撮影は[連続撮影 : Lo]のみ選択できます。
- PlayMemories Camera Appsでダウンロードした機能を使って撮影するとき、[サイレント撮影]は解除されます。アプリケーションを起動した後、撮影画面でMENUボタン → [サイレント撮影]から再度設定してください(一部のアプリケーションではサイレント撮影は設定できません)。

JP 起動してから撮影可能までの時間が通常よりも約0.5秒延びます。

# 撮影機能を自分好みにカスタマイズする

## 登録した設定を呼び出して撮影する

よく使うモードやカメラの設定を本機またはメモリーカードに登録でき、モードダイヤルで呼び出せます。

## 設定を登録する

- ① 本機を登録したい設定にしておく。
  - 以下の項目を登録できます。  
モードダイヤルで設定する撮影モード/絞り (F値) /シャッタースピード/  
 (撮影設定)項目
  - プログラムシフト、マニュアルフォーカスの設定は登録できません。
- ② MENUボタン →  (撮影設定) → [登録] → コントロールホイールの◀/▶で希望の番号を選ぶ → 中央ボタンで決定。
  - 本機に設定を登録する場合は「1」か「2」、メモリーカードに設定を登録する場合は「M1」～「M4」から希望の番号を選んでください。

## 登録した設定を呼び出す

- ① モードダイヤルを1または2にする。
  - メモリーカードに登録された設定を呼び出すには、コントロールホイールの◀/▶で呼び出したい番号を選んでください。
  - MENUボタン →  (撮影設定) → [登録呼び出し] で呼び出すこともできます。
  - 登録した内容を変更するには、希望する設定にして同じ番号に再登録してください。

## カスタムキーの設定機能を変える

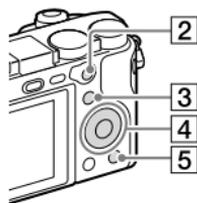
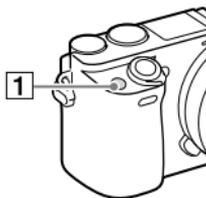
撮影時または再生時の機能を希望のボタンに割り当てることができます。

- 1 MENUボタン →  (カスタム設定) → [カスタムキー(撮影)]  
または [カスタムキー(再生)] を選ぶ。

## 2 選択画面で機能を割り当てたいボタンを選び、中央ボタンを押す。

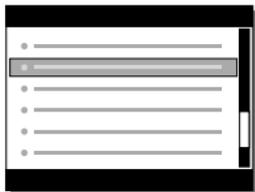
- [カスタムキー(撮影)]と[カスタムキー(再生)]で機能を割り当てられるボタンが異なります。
- 以下のボタンに希望の機能を割り当てられます。

- ① カスタムボタン1
- ② AF/MFボタン/AELボタン
- ③ スマートフォン転送ボタン
- ④ コントロールホイール  
(中央ボタン/左ボタン/  
右ボタン/下ボタン)
- ⑤ カスタムボタン2



## 3 割り当てたい機能を選び、中央ボタンを押す。

- 割り当てるボタンによって割り当てられる機能が異なります。



### [カスタムキー(撮影)]で割り当てられる機能

フォーカススタンダード <sup>(1)2)</sup>	ドライブモード	ブラケット時のセルフタイマー
フラッシュモード	調光補正	フォーカスモード
フォーカスエリア	露出補正	ISO感度
ISO AUTO低速限界	測光モード	ホワイトバランス
DRO/オートHDR	クリエイティブスタイル	ピクチャーエフェクト
ピクチャープロフィール	顔検出/スマイルシャッター	美肌効果
オートフレーミング	手ブレ補正	録音レベル
画像サイズ	横縦比	画質
カメラ内ガイド <sup>(3)</sup>	登録	押す間AEL <sup>2)</sup>
再押しAEL	押す間スポットAEL <sup>2)</sup>	再押しスポットAEL
押す間FELロック <sup>2)</sup>	再押しFELロック	押す間FELロック/AEL <sup>2)</sup>
再押しFELロック/AEL	押す間AF/MFコントロール <sup>2)</sup>	再押しAF/MFコントロール
中央ボタン押しロックオンAF	瞳AF <sup>2)</sup>	AFオン <sup>2)</sup>

フォーカスホールド <sup>2)</sup>	絞りレビュー <sup>2)</sup>	撮影結果レビュー <sup>2)</sup>
ブライトモニタリング <sup>4)</sup>	ズーム	ピント拡大
モニターミュート	MOVIE(動画)	ゼブラ
グリッドライン	目印マーカー表示切換	音声レベル表示
ピーキングレベル	ピーキング色	☒サイレント撮影
FINDER/MONITOR切換	☒ファインダーフレームレート	スマートフォン転送
ダウンロードアプリ	登録アプリ一覧	モニター明るさ
ガンマ表示アシスト	TC/UB表示切換	未設定

- レンズのフォーカスホールドボタンにも撮影時の機能を割り当てることができます。ただし、お使いのレンズによっては、フォーカスホールドボタンがない場合があります。

1) [フォーカスエリア]と[中央ボタン押しロックオンAF]の設定によってボタンを押したときにできることが変わります。

- [フォーカスエリア]が[ゾーン]、[フレキシブルスポット]または[拡張フレキシブルスポット]のときボタンを押すと、測距枠の位置を変更できます。静止画撮影時には、測距枠の位置を変更しながら静止画を撮影することができます。
- [フォーカスエリア]が[ワイド]または[中央]で、[中央ボタン押しロックオンAF]が[入]のときボタンを押すと、[中央ボタン押しロックオンAF]が起動します。
- [フォーカスエリア]が[ワイド]または[中央]で、[フォーカスモード]が[マニュアルフォーカス]以外、[中央ボタン押しロックオンAF]が[切]のときボタンを押している間、AFを行います。

2) 左ボタン/右ボタン/下ボタンには設定できません。

3) 中央ボタン/左ボタン/右ボタン/下ボタンには設定できません。

4) 夜空などの暗い場所でも、被写体を確認しやすくする機能です。

### [カスタムキー(再生)]で割り当てられる機能

FINDER/MONITOR切換	スマートフォン転送	削除
一覧表示	回転	Ⓢ拡大
カスタムキー(撮影)に従う <sup>1)</sup>		

1) [カスタムキー(撮影)に従う]を選択すると、[カスタムキー(撮影)]で選択した機能が再生時にも割り当てられます。

## Fn(ファンクション)ボタンの設定機能を変える

### 1 MENUボタン → ☆(カスタム設定) →

[ファンクションメニュー設定] → 希望の場所に機能を設定する。

#### 割り当てられる機能

ドライブモード	ブラケット時のセルフタイマー	フラッシュモード
調光補正	フォーカスモード	フォーカスエリア
露出補正	ISO感度	ISO AUTO低速限界
測光モード	ホワイトバランス	DRO/オートHDR
クリエイティブスタイル	撮影モード	ピクチャーエフェクト
ピクチャープロファイル	中央ボタン押しロックオンAF	顔検出/スマイルシャッター
 美肌効果	 オートフレーミング	 画像サイズ
 横縦比	 画質	手ブレ補正
録音レベル	ゼブラ	グリッドライン
 マーカー表示	音声レベル表示	ピーキングレベル
ピーキング色	 ファインダーフレームレート	 サイレント撮影
ガンマ表示アシスト	未設定	

# 動画を撮る

## 1 MOVIE(動画)ボタンを押して、撮影を開始する。

- シャッタースピードや絞りを希望の値に設定したいときは、モードダイヤルを  (動画/ハイフレームレート) にしてください(45ページ)。
- ピントを合わせるエリアを指定したいときは、[フォーカスエリア]で設定します(51ページ)。



MOVIE(動画)ボタン

## 2 もう一度MOVIEボタンを押して、終了する。

### ご注意

- 動画記録中にズームなどの操作をすると、カメラの動作音や操作音が記録されます。また、動画撮影終了時、MOVIEボタンの操作音が記録されることがあります。
- 連続撮影可能時間は、「静止画の記録可能枚数と動画の記録可能時間」(102ページ)をご覧ください。撮影が終わってしまったら、もう一度MOVIEボタンを押すと撮影を再開できます。撮影環境温度によっては、機器保護のため停止する場合があります(104ページ)。
- 電動ズームレンズをお使いの場合、動画記録中のズームリングでの作動音が気になるときはズームレバーでの操作をおすすめします。ズームレバーを動かすときは、レバーに軽く指をかけて、レバーをはじかないように操作してください。
- MENUボタン →  (撮影設定) → [音声記録] → [切] にすると、音声記録されないようにできます(86ページ)。

### MOVIEボタンについて

お買い上げ時の設定では、[MOVIE(動画)ボタン]が[常に有効]に設定されているため、すべての撮影モードから動画撮影を開始できます。

MENUボタン →  (カスタム設定) → [MOVIE(動画)ボタン] → [動画モードのみ有効] にすると、モードダイヤルが

 (動画/ハイフレームレート) 以外のときはMOVIEボタンを押しても動画は撮影されません。

## 動画の記録方式/画質を選ぶ

1 MENUボタン →  (撮影設定) → [記録方式] → 希望の設定を選ぶ。

記録方式	特徴	
XAVC S 4K	4K解像度(3840×2160)で記録できます。	ソフトウェア PlayMemories Homeで パソコンに保存できます。
XAVC S HD	AVCHDと比べると情報量が多くなるため、より鮮明な画像を記録できます。このフォーマットで記録できるメモリーカードについては、101ページをご覧ください。	ソフトウェア PlayMemories Homeで パソコンに保存できます。
AVCHD	パソコン以外の保存機器との互換性に優れています。	ソフトウェア PlayMemories Homeで パソコンに保存または対応メディアを作成できます。
MP4	スマートフォンでの再生やネットワークへのアップロード、Web公開が簡単に行えます。	ソフトウェア PlayMemories Homeで パソコンに保存できます。

2 MENUボタン →  (撮影設定) → [記録設定] → 希望の設定を選ぶ。

- ビットレートが高いほど高画質で撮影できます。
- 各記録設定時の最大記録時間の目安は103ページをご覧ください。

[**4K**記録方式]が[XAVC S 4K]のとき

記録設定	ビットレート	説明
30p 100M	約100 Mbps	3840×2160(30p)で撮影する。
30p 60M	約60 Mbps	3840×2160(30p)で撮影する。
24p 100M	約100 Mbps	3840×2160(24p)で撮影する。映画のような雰囲気記録できる。
24p 60M	約60 Mbps	3840×2160(24p)で撮影する。映画のような雰囲気記録できる。

[**HD**記録方式]が[XAVC S HD]のとき

記録設定	ビットレート	説明
60p 50M	約50 Mbps	1920×1080(60p)で撮影する。
30p 50M	約50 Mbps	1920×1080(30p)で撮影する。
24p 50M	約50 Mbps	1920×1080(24p)で撮影する。映画のような雰囲気記録できる。
120p 100M	約100 Mbps	1920×1080(120p)のハイスピード記録を行う。120 fpsの動画を記録できる。 <ul style="list-style-type: none"> <li>対応する編集機器を使って、よりなめらかなスローモーション映像を作ることができます。</li> </ul>
120p 60M	約60 Mbps	1920×1080(120p)のハイスピード記録を行う。120 fpsの動画を記録できる。 <ul style="list-style-type: none"> <li>対応する編集機器を使って、よりなめらかなスローモーション映像を作ることができます。</li> </ul>

## [**画質**記録方式]が[AVCHD]のとき

画質記録設定	ビットレート	説明
60i 24M(FX)	最大24 Mbps	1920×1080(60i)で撮影する。
60i 17M(FH)	平均約17 Mbps	1920×1080(60i)で撮影する。
60p 28M(PS)	最大28 Mbps	1920×1080(60p)で撮影する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>撮影した動画を扱うには対応機器が必要です。</li> </ul>
24p 24M(FX)	最大24 Mbps	1920×1080(24p)で撮影する。映画のような雰囲気記録できる。
24p 17M(FH)	平均約17 Mbps	1920×1080(24p)で撮影する。映画のような雰囲気記録できる。

## [**画質**記録方式]が[MP4]のとき

画質記録設定	ビットレート	説明
1080/60p 28M	平均約28 Mbps	1920×1080(60p)で撮影する。
1080/30p 16M	平均約16 Mbps	1920×1080(30p)で撮影する。
720/30p 6M	平均約6 Mbps	1280×720(30p)の小さいファイルサイズで撮影する。

## ご注意

- [**画質**記録設定]を[60p 28M(PS)<sup>Super 35mm</sup>]または[60i 24M(FX)<sup>Super 35mm</sup>]、[24p 24M(FX)<sup>Super 35mm</sup>]にして撮影した動画からAVCHD記録ディスクを作成すると、画質が変換されるため、ディスク作成に時間がかかります。画質を変換せずに保存したい場合は、ブルーレイディスクをお使いください。
- 以下の場合は、撮影画角が狭くなります。
  - [**画質**記録方式]が[XAVC S 4K]で、[**画質**記録設定]を[30p 100M]または[30p 60M]にして記録する場合
  - [**画質**記録方式]が[XAVC S HD]で、[**画質**記録設定]を[120p 100M]または[120p 60M]にして記録する場合
  - [動画/ハイフレームレート]を[**画質**] (ハイフレームレート)にして記録する場合

## 絞りとシャッタースピードを設定して動画を撮る

絞りやシャッタースピードを設定して、背景のぼかし具合や流動感を思い通りにコントロールした動画を撮影できます。

1 モードダイヤルを **動画/ハイフレームレート** にする。

2 MENUボタン → **撮影設定** →

[動画/ハイフレームレート] → 希望のモードを選ぶ。

**動画P(プログラムオート) (45)** : 露出は本機が自動設定する。

**動画A(絞り優先) (47)** : 絞りを手動設定する。

**動画S(シャッタースピード優先) (48)** : シャッタースピードを手動設定する。

**動画M(マニュアル露出) (49)** : 露出(シャッタースピードと絞り)を手動設定する。

- ハイフレームレートのモードについての詳細は、「スローモーション動画を撮影する(ハイフレームレート撮影)」をご覧ください。

3 MOVIE(動画)ボタンを押して撮影する。

## スローモーション動画を撮影する(ハイフレームレート撮影)

記録フォーマットより高いフレームレートで撮影することによって、なめらかなスローモーション動画を記録できます。

1 モードダイヤルを **動画/ハイフレームレート** にする。

2 MENUボタン → **撮影設定** → [動画/ハイフレームレート]、  
またはFnボタン → **動画/ハイフレームレート** を選び、希望の **ハイフレームレート** の設定を選ぶ。

**FRP (FRPプログラムオート) (45)** : 露出は本機が自動設定し、スローモーション動画を撮影できる。

**FR A (FR絞リ優先) (47)** : 絞りを手動調整し、ピントの合う範囲や背景のぼかし具合を変えて、スローモーション動画を撮影できる。

**FR S (FRシャッタースピード優先) (48)** : シャッタースピードを手動調整し、動くものの表現を変えて、スローモーション動画を撮影できる。

**FR M (FRマニュアル露出) (49)** : 露出(シャッタースピードと絞リ)を手動設定して、スローモーション動画を撮影できる。

---

### 3 MENUボタン → (撮影設定) →

[FR ハイフレームレート設定] → [FR 記録設定] を選ぶ。

**FR 記録設定** : 記録する動画のフレームレートを [30p 16M]、[24p 12M] から選ぶ。

- 撮影時のフレームレートは、120 fpsに固定され変更できません。

---

### 4 MENUボタンを押して、撮影画面に戻る。

---

### 5 MOVIE (動画) ボタンを押して、撮影を開始する。

- もう一度MOVIE (動画) ボタンを押すと、撮影が終了します。

---

#### [FR 記録設定] と再生速度

記録フレームレート/ ビットレート	記録画サイズ	再生速度
30p 16M	フルHD (1920×1080)	4倍スローモーション動画
24p 12M	フルHD (1920×1080)	5倍スローモーション動画

#### ご注意

- 音声は記録されません。
- 記録される動画はXAVC S HDフォーマットになります。

## あらかじめ設定した画質で撮る(ピクチャープロファイル)

撮影する画像の発色、階調などの設定を変更できます。  
設定などの詳細はヘルプガイド(11ページ)をご覧ください。

### ピクチャープロファイルの内容を変更する

[ガンマ]や[ディテール]などを調節して好みの画質設定を作れます。  
設定するときは、本機をテレビやモニターにつないで、画像を確認しながら調節してください。

---

**1 MENUボタン** →  (撮影設定) → [ピクチャープロファイル]  
→ 変更したいプロファイルを選ぶ。

---

**2 コントロールホイールの▶を押して、項目一覧に移動する。**

---

**3 ▲/▼で、変更したい項目を選ぶ。**

---

**4 ▲/▼で希望の設定値を選び、中央ボタンを押す。**

---

### お買い上げ時の設定に戻すには

ピクチャープロファイル番号ごとに取り消せます。すべての設定を一度に取り消すことはできません。

MENUボタン →  (撮影設定) → [ピクチャープロファイル] →  
[リセット] を選ぶ。

#### 撮影のテクニック

- 本機はS-Logで撮影することができます。また、[ガンマ表示アシスト]を使うことで、通常のガンマと同等のコントラストでS-Log画像をファインダーやモニターに表示できます。詳しくはヘルプガイド(11ページ)をご覧ください。

# 静止画を見る

1  (再生) ボタンを押す。



 (再生) ボタン

2 コントロールホイールの▶(次) / ◀(前)を押す、または  
コントロールホイールを回して画像を選ぶ。

- 拡大するには、 ボタンを押す。最初は大きく拡大されますのでコントロールホイールを回して倍率を調整してください。
- 画像はピントが合った位置を中心に拡大されます。ピントが合っていない場合、画像の中心が拡大されます。



コントロールホイール

撮影に戻るには

-  (再生) ボタンを押す。
- シャッターボタンを半押ししても撮影に戻ります。

# 動画を見る

1  (再生) ボタンを押して再生モードにする。

2 コントロールホイールで再生したい動画を選び、中央ボタンを押す。

動画の再生が始まる。

- もう一度中央ボタンを押すと、一時停止します。再生中に◀/▶を押すと早戻し、早送りができます。▼を押すと、操作パネルが表示されます。

操作パネル	できること
	再生
	一時停止
	早送り
	早戻し
	スロー再生
	スロー逆再生
	次の動画
	前の動画
	コマ送り
	コマ戻し
	音量設定
	操作パネルを閉じる

テレビで再生するには

HDMIケーブル(別売)で本機とテレビを接続する。

# 素早く探す(一覧表示)

- 1  (再生) ボタンを押して再生モードにし、コントロールホイールの  ボタンを押す。



- 2 コントロールホイールの▲/▼/◀/▶を押す、またはコントロールホイールを回して画像を選ぶ。

- 中央ボタンを押すと、1枚再生に戻ります。

希望の画像を素早く表示するにはコントロールホイールで左側のバーを選び、▲/▼でページを送ることができます。また、左側のバーを選んで中央ボタンを押すと、カレンダー画面またはフォルダー選択画面になり、日付またはフォルダーを選べます。アイコンを選んでビューモードを切り換えることもできます(92ページ)。



# 削除する

- 1 ▶(再生)ボタンを押して削除したい画像を表示し、 (削除)ボタンを押す。



 (削除) ボタン

- 2 コントロールホイールの▲で[削除]を選び、中央ボタンを押す。

- MENUボタン →  (再生) → [削除] で、複数の画像を一度に削除することもできます(92ページ)。

## すべての画像を削除する(フォーマット)

メモリーカードのデータをすべて削除します。フォーマットするとプロテクトしてある画像も含めて、すべてのデータが消去され、元に戻せません。MENUボタン →  (セットアップ) → [フォーマット] → [実行]を選ぶ。

見る

## その他の再生機能を使う

本機はこの他にも多くの再生機能を搭載しています。Wi-FiやHDMIケーブルを使ったテレビでの再生方法、撮った画像のプリント方法、連続再生(スライドショー)などの詳細は、ヘルプガイド(11ページ)で確認できます。

# 電子音の設定を変える

本機の電子音が鳴るかどうかを設定します。

---

**1 MENUボタン →  (セットアップ) → [電子音] → 希望の設定を選ぶ。**

入：ピントが合ったときなどに、操作音が鳴る。

切：操作音は鳴らない。

---

# ソフトウェアを活用する

以下のソフトウェアをパソコンにインストールすると、本機をもっと便利に活用できます。

- PlayMemories Home : パソコンへ画像を取り込んで活用する (80 ページ)
- Image Data Converter : RAW画像を表示、加工する
- Remote Camera Control : パソコンからUSBケーブルで接続したカメラを操作する

それぞれのソフトウェアは、以下のURLからパソコンにダウンロードしてインストールできます。

---

## 1 パソコンのインターネットブラウザで以下のURLにアクセスし、画面の指示に従ってダウンロードする。

Windows:

<http://www.sony.co.jp/imsoft/Win/>

Mac:

<http://www.sony.co.jp/imsoft/Mac/>

- インターネット接続が必要です。
- 詳しい操作方法は、各ソフトウェアのサポートページまたはヘルプをご覧ください。

---

### ご注意

- Remote Camera Controlを使用するときは、MENUボタン →  (セットアップ) → [USB接続] → [PCリモート] にしてから本機とパソコンを接続してください。

# パソコンへ画像を取り込んで活用する (PlayMemories Home)

撮影した静止画、動画を、パソコンに取り込んで閲覧や活用ができます。  
XAVC S動画やAVCHD動画をパソコンに取り込む場合は  
PlayMemories Homeが必要です。

<http://www.sony.net/pm/>

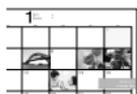


カメラの画像をPCに取り込み

取り込んだ画像を再生



Windowsでは以下の機能も使えます。



カレンダーで  
表示



動画ディスク  
を作成



ネットワーク  
サービスにアッ  
プロード

PlayMemories Online™  
で画像をシェア



## ご注意

- PlayMemories Online、各ネットワークサービスの利用にはインターネット接続が必要です。
- 2011年以前の機種に付属のソフトウェアPMB(Picture Motion Browser)がインストールされている場合、PlayMemories Homeが上書きインストールされます。PMBの後継ソフトウェアPlayMemories Homeをご使用ください。
- PlayMemories Homeに新たに機能が追加されることがあります。すでにPlayMemories Homeがインストールされている場合でも、本機とパソコンを接続してください。
- カメラの動作中やアクセス中の画面が表示されている場合、カメラ本体からマイクロUSBケーブル(付属)をはずさないでください。データが壊れることがあります。
- パソコンとの接続を切断するには、タスクトレイのをクリックし、次に「[ILCE-6300の取り出し]」をクリックしてください。

# カメラに機能を追加する (PlayMemories Camera Apps)

インターネットでアプリケーションダウンロードサイト

 (PlayMemories Camera Apps™) に接続して、お好みの機能を本機に追加できます。

## アプリケーションをダウンロードする

### 1 パソコンでアプリケーションダウンロードサイトへアクセスする。

<http://www.sony.net/pmca/>

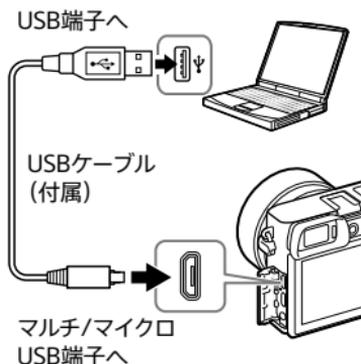
- ダウンロードに必要なパソコンの動作環境は、アプリケーションダウンロードサイトをご確認ください。

### 2 画面の指示に従って、サービスアカウントを取得する。(初回のみ)

- アカウントをお持ちの場合は、アプリケーションダウンロードサイトへサインインしてください。

### 3 お好みのアプリケーションを選び、画面の指示に従って本機にアプリケーションをダウンロードする。

- 画面の指示に従って、パソコンと本機をマイクロUSBケーブル(付属)で接続してください。



カメラに機能を追加する

## 本機のWi-Fi機能で直接ダウンロードするには

Wi-Fi機能を使って、パソコンを使用せずにダウンロードすることもできます。

MENUボタン →  (アプリケーション) → [アプリ一覧] →

 (PlayMemories Camera Apps)を選び、画面の指示に従ってダウンロードする。

- あらかじめサービスアカウントを取得してください。
- MENUボタン →  (ワイヤレス) → [アクセスポイント手動登録] → 接続したいアクセスポイント → [IPアドレス設定]が[マニュアル]になっている場合は[オート]に変更してください。

## アプリケーションを起動する

1 MENUボタン →  (アプリケーション) → [アプリ一覧] → 希望のアプリケーションを選んで起動する。

## NFC機能を使ってアプリケーションを起動するには

[ワンタッチ(NFC)]を使うと、NFC機能搭載のAndroidスマートフォンを本機のにタッチして、アプリケーションを呼び出すこともできます。

- ご購入時、[ワンタッチ(NFC)]には[スマートリモコン内蔵版]が割り当てられています。

## アプリケーションをすばやく起動するには

カスタムキーの設定で、[ダウンロードアプリ]、[登録アプリ一覧]を設定しておく、撮影情報画面でカスタムキーを押すだけでアプリケーションを起動したり、アプリケーション一覧を表示できます。

# MENUボタンで選ぶ機能一覧

## 📷(撮影設定)

 画像サイズ	静止画のサイズを選択する。 (L:24M/M:12M/S:6.0M(3:2のとき) L:20M/M:10M/S:5.1M(16:9のとき))
 横縦比	静止画の横縦比を選択する。 (3:2/16:9)
 画質	静止画の画質を設定する。 (RAW/RAW+JPEG/エクストラファイン/ファイン/ スタンダード)
パノラマ：画像サイズ	パノラマ画像のサイズを選択する。 (標準/ワイド)
パノラマ：撮影方向	パノラマの撮影方向を設定する。 (右/左/上/下)
 記録方式	動画を記録するときの記録方式を設定する。 (XAVC S 4K/XAVC S HD/AVCHD/MP4)
 記録設定	動画のサイズを選択する。 (30p 100M/30p 60M/24p 100M <sup>Super/35mm</sup> / 24p 60M <sup>Super</sup> (XAVC S 4Kのとき) 60p 50M <sup>Super/35mm</sup> /30p 50M <sup>Super/35mm</sup> /24p 50M <sup>Super/35mm</sup> / 120p 100M/120p 60M (XAVC S HDのとき) 60i 24M (FX) <sup>Super/35mm</sup> /60i 17M (FH) <sup>Super/35mm</sup> / 60p 28M (PS) <sup>Super/35mm</sup> /24p 24M (FX) <sup>Super/35mm</sup> / 24p 17M (FH) <sup>Super/35mm</sup> (AVCHDのとき) 1080/60p 28M <sup>Super/35mm</sup> /1080/30p 16M <sup>Super/35mm</sup> / 720/30p 6M <sup>Super/35mm</sup> (MP4のとき))
同時ビデオ記録	XAVC S動画またはAVCHD動画と、MP4動画を同 時に記録するかを設定する。 (入/切)
 ハイフレームレート設定	ハイフレームレート撮影の設定をする。 (  記録設定)

ドライブモード	連続撮影などの撮影方法を設定する。 (1枚撮影/連続撮影/セルフタイマー/ セルフタイマー(連続)/連続ブラケット/ 1枚ブラケット/ホワイトバランスブラケット/ DROブラケット)
ブラケット設定	ブラケットモード時のセルフタイマー撮影の時間や、 露出ブラケット/ホワイトバランスブラケットの撮影 順序を設定する。 (ブラケット時のセルフタイマー/ブラケット順序)
フラッシュモード	フラッシュの発光方式を設定する。 (発光禁止/自動発光/強制発光/スローシンクロ/ 後幕シンクロ/ワイヤレス)
調光補正	フラッシュの発光量を調整する。 (-3.0EV ~ +3.0EV)
赤目軽減発光	フラッシュ撮影時、目が赤くなるのを軽減する。 (入/切)
フォーカスモード	ピント合わせの方法を選ぶ。 (シングルAF/AF制御自動切り換え/ コンティニュアスAF/DMF/マニュアルフォーカス)
フォーカスエリア	ピント合わせの位置を選ぶ。 (ワイド/ゾーン/中央/フレキシブルスポット/ 拡張フレキシブルスポット/ロックオンAF)
 AF補助光	暗所でピントを合わせるための補助光を発光する。 (オート/切)
 AF駆動速度	動画撮影時、オートフォーカスのピント合わせ速度 を切り換える。 (高速/標準/低速)
 AF追従感度	動画撮影時、オートフォーカスの追従感度を設定す る。 (高/標準)
露出補正	画像全体の明るさを補正する。 (-5.0EV ~ +5.0EV)
露出値ステップ幅	シャッタースピード、絞り値、露出補正值の設定幅を 設定する。 (0.5段/0.3段)
ISO感度	ISO感度を設定する。 (マルチショットNR/ISO AUTO/ ISO 100~ISO 51200)

ISO AUTO低速限界	ISO AUTO時に、ISO感度が変わり始める低速側のシャッタースピードを設定する。 (より高速/高速/標準/低速/より低速/ 1/4000~30")
測光モード	明るさを測る方法を選ぶ。 (マルチ/中央重点/スポット)
ホワイトバランス	撮影場所の光の状況に合わせて画像の色合いを調整する。 (オート/太陽光/日陰/曇天/電球/ 蛍光灯: 温白色/蛍光灯: 白色/蛍光灯: 昼白色/ 蛍光灯: 昼光色/フラッシュ/水中オート/ 色温度・カラーフィルター/カスタム1~3/ カスタムセット)
DRO/オートHDR	明るさ、コントラストを自動補正する。 (切/Dレンジオプティマイザー/オートHDR)
クリエイティブスタイル	お好みの画像の仕上がりを選ぶ。 コントラスト、彩度、シャープネスの調整もできる。 (スタンダード/ビビッド/ニュートラル/クリア/ ディープ/ライト/ポートレート/風景/夕景/夜景/ 紅葉/白黒/セピア/スタイルボックス1~6)
ピクチャーエフェクト	好みの効果を使って、より印象的でアーティスト ティックな表現の画像を撮影できる。 (切/トイカメラ/ポップカラー/ポストリゼーション/ レトロフォト/ソフトハイキー/パートカラー/ ハイコントラストモノクロ/ソフトフォーカス/ 絵画調HDR/リッチトーンモノクロ/ミニチュア/ 水彩画調/イラスト調)
ピクチャープロフィール	撮影する画像の発色、階調などの設定を変更できる。 (切/PP1~PP9)
ズーム	本体側のズームの倍率を設定する。
ピント拡大	撮影前の画像を拡大してピントの確認ができる。
 長秒時NR	シャッタースピードを1秒以上にした場合のノイズ軽減処理を設定する。 (入/切)
 高感度NR	高感度撮影した場合のノイズ軽減処理を設定する。 (標準/弱/切)

中央ボタン押しロックオンAF	撮影画面で中央ボタンを押したとき、被写体を追尾してピントを合わせ続ける機能を設定する。 (入/切)
顔検出/スマイルシャッター	人物の顔を自動でとらえ、ピントや露出を最適にする。笑顔を検出すると自動で撮影する。 (切/入(登録顔優先) /入/スマイルシャッター)
 美肌効果	顔検出時、被写体の美肌効果を設定する。 (切/入：高/入：中/入：低)
 オートフレーミング	人物の顔やマクロ撮影する被写体、または[ロックオンAF]でとらえた被写体を検出して、撮影するときにシーンを分析して、印象の異なる構図で画像を保存する。 (切/オート)
オートモード	オート撮影の方法を選ぶ。 (おまかせオート/プレミアムおまかせオート)
シーンセレクション	撮影状況に合わせて、あらかじめ用意された設定で撮影する。 (ポートレート/スポーツ/マクロ/風景/夕景/夜景/手持ち夜景/夜景ポートレート/人物ブレ軽減)
動画/ハイフレームレート	撮りたい被写体や効果に合わせて、露出モードを選んで撮影する。 (プログラムオート/絞り優先/シャッタースピード優先/マニュアル露出)
手ブレ補正	撮影時の手ブレ補正を設定する。 (入/切)
 色空間	再現できる色の範囲を変更する。 (sRGB/AdobeRGB)
 オートスローシャッター	動画撮影時、被写体が暗いときに自動でシャッタースピードを遅くするかどうかを設定する。 (入/切)
音声記録	動画撮影時、音声記録を行うかどうかを設定する。 (入/切)
録音レベル	録音レベルを調整する。 (0 ~ 31)
風音低減	動画撮影時、風音を低減する。 (入/切)

登録呼び出し	[登録]であらかじめ登録した設定を呼び出す。 (1/2/M1~M4)
登録	好みのモード、カメラの設定を登録する。 (1/2/M1~M4)

## ☆(カスタム設定)

ゼブラ	明るさ調整の目安になるしま表示を設定する。 (切/70~100/100+/カスタム1/カスタム2)
 MFアシスト	手動ピント合わせ時に画像を拡大表示する。 (入/切)
ピント拡大時間	拡大表示する時間を設定する。 (2秒/5秒/無制限)
 ピント拡大中のAF	拡大表示中に、オートフォーカスするかどうかを設定する。拡大表示中は、フレキシブルスポットより狭いエリアでピントを合わせることができる。 (入/切)
グリッドライン	構図を合わせるための線を表示する。 (3分割/方眼/対角+方眼/切)
 マーカー表示	動画撮影時に、モニターにマーカーを表示するかを設定する。 (入/切)
 マーカー設定	動画撮影時に表示されるマーカーを設定する。 (センター/アスペクト/セーフティゾーン/ ガイドフレーム)
音声レベル表示	音声レベルを画面に表示するかどうかを選ぶ。 (入/切)
オートレビュー	撮影したあと、撮った画像を表示するオートレビューの設定をする。 (10秒/5秒/2秒/切)
DISPボタン	コントロールホイールのDISPを押してモニターやファインダーに表示する情報の種別を設定する。 (背面モニター/ファインダー)

ピーキングレベル	マニュアルフォーカス撮影のときに、ピントが合った部分の輪郭を指定された色で強調表示する設定をする。 (高/中/低/切)
ピーキング色	輪郭を強調表示するピーキング表示の色を設定する。 (レッド/イエロー/ホワイト)
露出設定ガイド	撮影画面で露出設定を変更したときに表示するガイドの設定をする。 (切/入)
ライブビュー表示	モニターの表示に、露出補正などの設定値を反映するかどうかを設定する。 (設定効果反映On/設定効果反映Off)
フォーカスエリア自動消灯	フォーカスエリア表示を常に表示するか、ピントが合ったあと一定時間経過後に非表示にするかを設定する。 (入/切)
コンティニユアスAFエリア表示	コンティニユアスAF時にフォーカスエリアを表示するかどうかを設定する。 (入/切)
 プリアF	シャッターボタンを半押しする前から、自動でオートフォーカスするかしないかを設定する。 (入/切)
ズーム設定	全画素超解像ズーム、デジタルズームを使用するかどうかを設定する。 (光学ズームのみ/入：全画素超解像ズーム/ 入：デジタルズーム)
 アイスタートAF	マウントアダプターLA-EA2、LA-EA4(別売)を装着時、電子ビューファインダーをのぞくとオートフォーカスするかどうかを設定する。 (入/切)
FINDER/MONITOR	電子ビューファインダーとモニターの表示切り換え方法を設定する。 (オート/ファインダー(マニュアル) / モニター(マニュアル))
 ファインダーフレームレート	静止画撮影時のファインダーのフレームレートを設定する。 (60fps/120fps)

レンズなしリリース	レンズが装着されていない状態でシャッターが切れるかどうかを設定する。 (許可/禁止)
メモリーカードなしリリース	メモリーカードが入っていない状態でシャッターが切れるかどうかを設定する。 (許可/禁止)
AF-S時の優先設定	[フォーカスマード]が[シングルAF]、 [AF制御自動切り換え]または[DMF]で被写体が静止しているときに、シャッターが切れるタイミングを設定する。 (フォーカス優先/リリース優先/バランス重視)
AF-C時の優先設定	[フォーカスマード]が[コンティニユアスAF]または [AF制御自動切り換え]で被写体が動いているときに、シャッターが切れるタイミングを設定する。 (フォーカス優先/リリース優先/バランス重視)
 シャッター半押しAF	シャッターボタンを半押ししたときに、オートフォーカスによるピント合わせを行うかどうかを設定する。 ピント合わせと露出決定を別々に行いたいときに有効。 (入/切)
 シャッター半押しAEL	シャッターボタンを半押ししたときに、露出決定を行うかどうかを設定する。ピント合わせと露出決定を別々に行う設定にできる。 (オート/入/切)
 サイレント撮影	シャッター音を消して撮影する。 (入/切)
電子先幕シャッター	電子先幕シャッター機能を使用するかどうかを設定する。 (入/切)
プレミアムオート画像抽出	[プレミアムおまかせオート]で複数枚撮影するシーンと判定したときに、自動的に画像を1枚抽出して保存するかどうかを設定する。 (オート/切)
露出補正の影響	露出補正値をフラッシュの調光に反映するかどうかを設定する。 (定常光+フラッシュ/定常光のみ)
個人顔登録	優先してピントを合わせる人物の登録・編集を行う。 (新規登録/優先順序変更/削除/全て削除)

AF微調整	マウントアダプターLA-EA2、LA-EA4(別売)装着時、オートフォーカスでのピント位置を微調整する。 (AF微調整設定/調整値/調整値クリア)
レンズ補正	レンズ補正の種類を選ぶ。 (周辺光量補正/倍率色収差補正/歪曲収差補正)
 AFシステム	マウントアダプター LA-EA1、LA-EA3(別売)を装着時のオートフォーカス方式を設定する。 (位相差AF/コントラストAF)
ファンクションメニュー設定	Fn(ファンクション)ボタンで表示する機能をカスタマイズする。 (ドライブモード/ブラケット時のセルフタイマー/ フラッシュモード/調光補正/フォーカスモード/ フォーカスエリア/露出補正/ISO感度/ ISO AUTO低速限界/測光モード/ホワイトバランス/ DRO/オートHDR/クリエイティブスタイル/ 撮影モード/ピクチャーエフェクト/ ピクチャープロフィール/ 中央ボタン押しロックオンAF/ 顔検出/スマイルシャッター/  美肌効果/  オートフレーミング/  画像サイズ/  横縦比/  画質/手ブレ補正/録音レベル/ ゼブラ/グリッドライン/  マーカー表示/ 音声レベル表示/ピーキングレベル/ピーキング色/  ファインダーフレームレート/  サイレント撮影/ガンマ表示アシスト/未設定)
カスタムキー(撮影)	あらかじめキーに機能を設定しておく、撮影時にキーを押すだけで設定しておいた機能を実行できる。 (カスタムボタン1/カスタムボタン2/中央ボタン/ 左ボタン/右ボタン/下ボタン/AELボタン/ AF/MFボタン/フォーカスホールドボタン*) * レンズのフォーカスホールドボタンの機能を設定します。
カスタムキー(再生)	あらかじめキーに機能を設定しておく、再生時にキーを押すだけで設定しておいた機能を実行できる。 (カスタムボタン1/Fn/  ボタン)

ダイヤル/ホイールの設定	撮影モードがMのとき、コントロールダイヤルとコントロールホイールに、シャッタースピードと絞り値のどちらを割り当てるかを設定する。 (  シャッター  絞り/  絞り  シャッター)
ダイヤル/ホイール露出補正	コントロールダイヤルまたはコントロールホイールで露出補正ができるように設定する。 (切/  ホイール/  ダイヤル)
ズームリング操作方向	ズームリングの回転方向に対して、W/Tの割り当てを設定する。電動ズームレンズで本機能に対応したレンズのみ使用できる。 (左回転(W) / 右回転(T) または、 右回転(W) / 左回転(T))
MOVIE(動画)ボタン	MOVIEボタンが有効になるモードを設定する。 (常に有効/動画モードのみ有効)
ダイヤル/ホイールロック	Fnボタンを押して、撮影時にコントロールダイヤル/コントロールホイールを一時的に無効にする機能を設定する。Fnボタンを押し続けることでロックまたはロック解除する。 (入/切)

## (ワイヤレス)

スマートフォン転送	スマートフォンに画像を表示、転送する。 (カメラから選ぶ/スマートフォンから選ぶ)
パソコン保存	本機の画像をネットワークにつながれたパソコンに転送し、バックアップをとる。
テレビ鑑賞	ネットワークにつながれたテレビで画像を見る。
ワンタッチ(NFC)	ワンタッチ(NFC)にアプリケーションを1つ割り当てる。撮影時にNFC対応スマートフォンを本機にタッチすると、そのアプリケーションが起動する。
飛行機モード	飛行機などに搭乗するとき、Wi-Fi/NFC機能を使用する設定を一時的にすべて無効にする。 (入/切)

アクセスポイント簡単登録	Wi-Fi Protected Setup™ (WPS) ボタンを押すことで、簡単にアクセスポイントを登録できる。
アクセスポイント手動登録	手動でアクセスポイントを登録できる。
機器名称変更	Wi-Fi Directなどの機器名称を変更する。
MACアドレス表示	本機のMACアドレスを表示する。
SSID・PWリセット	スマートフォン接続の接続情報をリセットする。
ネットワーク設定リセット	すべてのネットワーク設定をリセットする。

## ☰(アプリケーション)

アプリ一覧	アプリケーションの一覧を表示する。使いたいアプリケーションを選択できる。
サービス紹介	アプリケーションの使い方を表示する。

## ▶(再生)

削除	画像を削除する。 (画像選択/このフォルダーの全画像/ この日付の全画像)
ビューモード	再生する画像のグルーピング方法を設定する。 (日付ビュー/フォルダービュー(静止画) / フォルダービュー(MP4) /AVCHDビュー/ XAVC S HDビュー/XAVC S 4Kビュー)
一覧表示	一覧表示する枚数を選ぶ。 (12枚/30枚)
記録画像の回転表示	縦向きで記録した静止画の再生方法を設定する。 (オート/マニュアル/切)
スライドショー	画像を連続再生する。 (リピート/間隔設定)
回転	画像を回転する。
⊕拡大	再生画像を拡大表示する。

プロテクト	画像を誤って消さないように保護(プロテクト)する。 (画像選択/このフォルダーの全画像/ この日付の全画像/このフォルダーを全て解除/ この日付を全て解除)
プリント指定	メモリーカードの画像にプリント予約マークを付ける。 (画像選択/全画像解除/印刷設定)

## (セットアップ)

モニター明るさ	モニターの明るさを設定する。 (マニュアル/屋外晴天)
ファインダー明るさ	ファインダー使用時、ファインダーの明るさを設定する。 (オート/マニュアル)
ファインダー色温度	ファインダーの色温度を設定する。
ガンマ表示アシスト	S-Log画像をITU709相当の画像に変換し、ファインダーやモニターに表示する。 (切/オート/S-Log2→709(800%)/ S-Log3→709(800%))
音量設定	動画再生時の音量を設定する。
電子音	ピントが合ったときや、セルフタイマー作動時の動作音の有無を設定する。 (入/切)
アップロード設定	市販のEye-Fiカードを使うときのアップロード通信設定をする。 (入/切)
タイトルメニュー	MENUボタンを押したときに、タイトルメニューを表示するかを設定する。 (入/切)
モードダイヤルガイド	モードダイヤルガイド(各撮影モードの説明)の表示を設定する。 (入/切)

削除確認画面	削除の確認画面で、[削除]と[キャンセル]のどちらを選択された状態にするかを設定する。 (「削除」が先/「キャンセル」が先)
表示画質	表示画質を設定する。 (高画質/標準)
パワーセーブ開始時間	省電力モードになる時間を設定する。 (30分/5分/2分/1分/10秒)
クリーニングモード	イメージセンサーをクリーニングする。
デモモード	動画のデモンストレーションの入/切を設定する。 (入/切)
TC/UB設定	タイムコード(TC)とユーザービット(UB)の設定をする。 (TC/UB表示設定/TC Preset/UB Preset/ TC Format/TC Run/TC Make/UB Time Rec)
リモコン	赤外線リモコンを使用する/しないを設定する。 (入/切)
HDMI設定	HDMIに関する設定を行う。 (HDMI解像度/  24p/60p出力切替/ HDMI情報表示/  TC出力/  レックコントロール/HDMI機器制御)
 4K映像の出力先	本機を4K対応の外部録画再生機器などと接続するときに、どのように記録、HDMI出力するかを設定する。 (メモリーカード+HDMI/HDMIのみ(30p) / HDMIのみ(24p) <sup>Super 35mm</sup> )
USB接続	接続するパソコンやUSB機器に合わせて設定する。 (オート/マスストレージ/MTP/PCリモート)
USB LUN設定	USB接続の機能を制限して互換性を高める。通常は[マルチ]のまま使い、どうしても接続できない場合のみ、[シングル]に設定する。 (マルチ/シングル)
USB給電	本機とパソコン、またはUSB機器をマイクロUSBケーブルで接続するとき、USB給電するかどうかを設定する。ただし、付属のACアダプターを使用する場合は、設定にかかわらず給電される。 (入/切)

日時設定	時計、日付の設定をする。
エリア設定	本機を使用する場所に適した時刻に設定する。
著作権情報	撮影する静止画の著作権情報を設定する。 (著作権情報書き込み/撮影者名設定/ 著作権者名設定/著作権情報表示)
フォーマット	メモリーカードをフォーマット(初期化)する。
ファイル番号	ファイル番号の付けかたを設定する。 (連番/リセット)
ファイル名設定	撮影する静止画のファイル名の先頭3文字を変更する。
記録フォルダー選択	静止画と動画(MP4)を記録するフォルダーを設定する。
フォルダー新規作成	静止画と動画(MP4)を記録する新しいフォルダーを作成する。
フォルダー形式	静止画を記録するフォルダーの形式を設定する。 (標準形式/日付形式)
管理ファイル修復	画像の管理ファイル修復を行い、記録・再生できるようにする。
メディア残量表示	現在撮影可能な動画の時間と静止画の枚数を表示する。
バージョン表示	本機のソフトウェアのバージョンを表示する。
認証マーク表示	本機が対応している認証情報を表示する(表示されるのは認証情報の一部のみになります)。
設定リセット	設定をお買い上げ時の設定に戻す。すべての設定を初期値に戻す場合は、[初期化]を選ぶ。 (撮影設定リセット/初期化)

# 撮影モードごとの設定できない機能

選んでいる撮影モードや設定によって、設定できない機能があります。

○は選択可能、×は選択不可能を表しています。

撮影モード/ その他設定		露出 補正 (56)	セルフ タイマー (60)	連続 撮影 (58)	ブラ ケット (58)	ISO (57)	オート HDR (85)
<b>AUTO</b> (36)	  +	×	○	○	×	×	×
<b>SCN</b> (46)		×	×	○	×	×	×
	       ((  ))	×	○	×	×	×	×
 (45)		○	×	×	×	×	×
<b>P</b> (45)		○	○	○	○	○	○
<b>A</b> (47)		○	○	○	○	○	○
<b>S</b> (48)		○	○	○	○	○	○
<b>M</b> (49)		○*	○	○	○	○	○
 (45)	 	○*	×	×	×	○	×
オートHDR		○	○	×	×	○	○

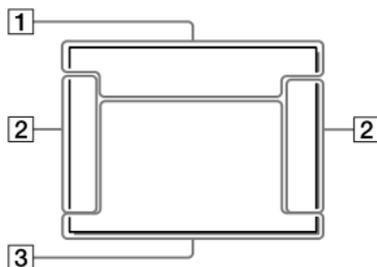
\* ISO AUTOのときのみ設定可能です。

## ご注意

- となっている機能でも、選択できない設定値がある場合があります。
- その他の条件によっても制限される場合があります。

# モニターに表示されるアイコン一覧

## 撮影時のアイコン一覧



## 再生時のアイコン一覧



表示	意味
	撮影モード* (45)
	登録呼び出し (63) メモリーカード/アップロード (93)
	シーン認識マーク (36)
	シーンセレクション (46)
100	撮影可能枚数 (102)

表示	意味
3:2 16:9	静止画の画像横縦比 (83)
24M/ 20M/ 12M/ 10M/ 6.0M/ 5.1M WIDE STD	静止画の画像サイズ (43)
RAW RAW+J X.FINE FINE STD	静止画の画質 (44)
120p 60p 60i 30p 24p	動画のフレームレート (68)
	動画の記録設定 (68)
N	NFC有効
100%	バッテリー容量 (22)
	バッテリー残量警告 (22)
	USB給電中 (25)

表示	意味
	フラッシュ充電表示 (39)
	AF補助光(84)
	オートフレーミング 画像(86)
	手ブレ補正オフ/ オン、手ブレ警告
	飛行機モード (91)
	動画音声記録オフ (86)
	風音低減(86)
	温度上昇警告
	管理ファイルフル警 告/管理ファイルエ ラー警告
	設定効果反映Off (88)
	スマートズーム/ 全画素超解像ズーム/ デジタルズーム (37)
	ビューモード (92)
<b>100-0003</b>	フォルダー番号ー ファイル番号
<b>XAVC S 4K XAVC S HD AVCHD MP4</b>	動画の記録方式 (68)

表示	意味
	プロテクト(93)
<b>DPOF</b>	DPOF(プリント)指 定(93)
	同時ビデオ記録 (83)
<b>-PC-</b>	PCリモート(94)
	サイレント撮影 (62)
	ブライトモニタリング (65)
	著作権情報書き込み オン(95)
<b>120fps</b>	HFR撮影時のフレ ームレート(71)
	ガンマ表示アシスト (93)

表示	意味
	ドライブモード (58、60)
	測光モード (85)
	フラッシュモード (39) / 赤目軽減 (84)
	調光補正 (84)
	フォーカスモード (50)
	フォーカスエリア (51)
	レンズ焦点距離
	ホワイトバランス (85)
	Dレンジオプティマイザ/オートHDR (85)
	顔検出/スマイルシャッター (86)

表示	意味
	クリエイティブスタイル (54)
	美肌効果 (86)
	ピクチャーエフェクト (85)
	スマイル検出感度インジケータ (86)
	ピクチャープロフィール (73)
	ファインダーフレームレート (61)

3

表示	意味
● ロックオン AF	中央ボタン押しロック オンAF用ガイド表示 (86)
● フォーカス 位置選択入/ 切	フォーカスエリア設定 用ガイド表示
- - - - -	ブラケットインジケー ター
STBY	動画の録画スタンバ イ
REC 0:12	動画の記録時間 (分:秒)
ⓐAv	コントロールホイール の機能(30)
📺Tv	コントロールダイヤル の機能(31)
● (ⓐ) (ⓐ)	フォーカス(35)
1/250	シャッタースピード (48)
F3.5	絞り値(47)
M ±0.0	メーターマニュアル (49)
☀ ±0.0	露出補正值(56)
ISO400	ISO感度(57)
* 1/2	AEロック/FELロック
	シャッタースピードイ ンジケーター(42)
	絞りインジケーター (42)
	ヒストグラム(41)

表示	意味
	水準器(41)
CH1 CH2 	音声レベル(87)
	ピクチャーエフェクト エラー(85)
HDR !	オートHDR画像警告
2016-1-1 10:37AM	撮影日時
3/7	画像番号/ビューモー ド内画像枚数
©	著作権情報あり
 REC  STBY	レックコントロール (94)
○	スポット測光サークル (85)
00:00:00:00	タイムコード(時:分: 秒:フレーム)(94)
00 00 00 00	ユーザービット (94)

# 使用できるメモリーカード

以下の一覧を参考にして、使用するメモリーカードを選んでください。静止画撮影、または動画撮影で使用できるメモリーカードを○で表しています。

対応メモリーカード	静止画	動画		
		MP4	AVCHD	XAVC S
メモリスティック PRO デュオ	○	○ (Mark2のみ)	○ (Mark2のみ)	—
メモリスティック PRO-HG デュオ™	○	○	○	○*1
メモリスティック マイクロ™ (M2)	○	○ (Mark2のみ)	○ (Mark2のみ)	—
SDメモリーカード*	○	○*2	○*2	—
SDHCメモリーカード*	○	○*2	○*2	○*3
SDXCメモリーカード*	○	○*2	○*2	○*3
microSD メモリーカード*	○	○*2	○*2	—
microSDHC メモリーカード*	○	○*2	○*2	○*3
microSDXC メモリーカード*	○	○*2	○*2	○*3

\*1 100 Mbps以上で記録することはできません。

\*2 SDスピードクラス4: **CLASS 4** 以上、またはUHSスピードクラス1: **U1** 以上

\*3 以下の条件をすべて満たすメモリーカード

– 容量4GB以上

– SDスピードクラス10: **CLASS 10**、またはUHSスピードクラス1: **U1** 以上  
100 Mbps以上で記録する場合は、UHSスピードクラス3: **U3**が必要です。

- 記録できる枚数/時間については、102~104ページをご覧ください。容量ごとの一覧を参考に、メモリーカードの容量を選んでください。

## ご注意

- SDHCメモリーカードにXAVC Sで長時間撮影した場合は、4GBのファイルに分割されます。PlayMemories Homeで結合することで、1つのファイルとして扱うことができます。
- すべてのメモリーカードの動作を保証するものではありません。ソニー製以外のメモリーカードについては、各メーカーにお問い合わせください。
- メモリスティック マイクロ、microSDメモリーカードを本機でお使いの場合は、必ず専用のアダプターに入れてお使いください。

# 静止画の記録可能枚数と動画の記録可能時間

記録枚数/時間は、撮影状況および使用するメモリーカードによって異なる場合があります。

## 静止画

本機でフォーマットしたメモリーカードに記録できる撮影枚数の目安は次のとおりです。当社試験基準メモリーカード使用時の枚数です。

[画像サイズ] : [L:24M]

[横縦比] : [3:2]のとき\*

画質	記録可能枚数			
	8GB	16GB	32GB	64GB
スタンダード	1300枚	2700枚	5400枚	10500枚
ファイン	820枚	1650枚	3300枚	6600枚
エクストラファイン	405枚	810枚	1600枚	3250枚
RAW+JPEG	215枚	435枚	880枚	1750枚
RAW	295枚	600枚	1200枚	2400枚

\* [横縦比]を[3:2]以外に設定しているときは、上記の枚数より多く記録できます(RAW設定時は除く)。

## ご注意

- 他機で撮影した画像を再生すると、実際の画像サイズと異なって表示される場合があります。

## 動画

本機でフォーマットしたメモリーカードに記録できる、動画ファイルの合計記録時間の目安です。[**□**記録方式]が[XAVC S 4K]、[XAVC S HD]、[AVCHD]の数値は、[同時ビデオ記録]を[切]で使用したときの数値です。

記録方式	記録設定	記録可能時間		
		8GB	32GB	64GB
XAVC S 4K	30p 100M	9分	35分	1時間15分
	30p 60M	15分	1時間	2時間5分
	24p 100M <small>Super 35mm</small>	9分	35分	1時間15分
	24p 60M <small>Super 35mm</small>	15分	1時間	2時間5分
XAVC S HD	60p 50M <small>Super 35mm</small>	15分	1時間15分	2時間35分
	30p 50M <small>Super 35mm</small>	15分	1時間15分	2時間35分
	24p 50M <small>Super 35mm</small>	15分	1時間15分	2時間35分
	120p 100M	9分	35分	1時間15分
	120p 60M	15分	1時間	2時間5分
	30p 16M*	10分	55分	1時間55分
	24p 12M*	10分	55分	1時間55分
AVCHD	60i 24M (FX) <small>Super 35mm</small>	40分	3時間	6時間
	60i 17M (FH) <small>Super 35mm</small>	55分	4時間5分	8時間15分
	60p 28M (PS) <small>Super 35mm</small>	35分	2時間30分	5時間5分
	24p 24M (FX) <small>Super 35mm</small>	40分	3時間	6時間
	24p 17M (FH) <small>Super 35mm</small>	55分	4時間5分	8時間15分
MP4	1080/60p 28M <small>Super 35mm</small>	35分	2時間35分	5時間20分
	1080/30p 16M <small>Super 35mm</small>	1時間	4時間10分	8時間25分
	720/30p 6M <small>Super 35mm</small>	2時間35分	10時間55分	22時間

\* ハイフレームレート撮影時の記録方式です。(記載している時間は撮影時に記録できる時間であり、再生時の時間ではありません。)

- 連続撮影可能時間は1回の撮影で約29分です(商品仕様による制限)。ただし、以下の場合は連続撮影可能時間が異なります。
  - ハイフレームレート撮影時：[30p 16M]のとき約7分、[24p 12M]のとき約5分30秒
  - 記録方式の設定をMP4(28M)にした場合：約20分(ファイルサイズ4GBによる制限)

## ご注意

- 撮影シーンに合わせて動画の画質を自動調節するVBR(Variable Bit-Rate)方式を採用しているため記録時間が変動します。動きの速い映像を記録する場合、メモリーの容量を多めに使用してより鮮明な画像を記録しますが、その分記録時間は短くなります。また、撮影環境や被写体の状態、画質/画像サイズの設定によっても記録時間は変動します。
- スローモーション動画の再生時間は、XAVC S HD 30p 16Mでは記録時間の4倍、XAVC S HD 24p 12Mでは記録時間の5倍となります。

## 動画の連続撮影についてのご注意

- イメージセンサーを使った高精細な動画や高速で連写を行うには多くの電力を必要とします。そのため連続して撮影し続けることでカメラ内部、特にイメージセンサーの温度が上昇します。温度の上昇は画質への影響やカメラ内部に対して負荷が生じるので自動的に電源が切れる仕様となっています。
- しばらく電源を切った状態から出荷時設定で撮影を開始した場合、下記の連続動画撮影が可能です(記録開始から停止するまでの時間です)。

環境温度	連続動画撮影時間(HD)	連続動画撮影時間(4K)
20°C	約29分	約20分
30°C	約29分	約20分
40°C	約29分	約20分

HD : XAVC S HD 60p 50M

4K : XAVC S 4K 24p 60M

- 連続動画撮影時間は温度環境や動画の記録方式・記録設定、動画撮影前の使用状況により変動します。カメラの電源を入れ、構図確認や静止画撮影を繰り返し使用していた場合には、カメラ内部の温度が上昇しますので、上記の動画撮影時間より短くなります。
- [L]が表示された場合は動画撮影を終了してください。
- 温度の上昇により動画撮影が停止した場合、電源を切ったまま数分間放置し、カメラの温度が下がってから撮影を再開してください。

# 故障かな？と思ったら

困ったときは、下記の流れに従ってください。

① 105～108ページの項目をチェックする。また、「ヘルプガイド (HTML)」も参照し、本機を点検する。

② バッテリーを取りはずし、約1分後再びバッテリーを入れ、本機の電源を入れる。

③ 設定リセットをする(95ページ)。

④  $\alpha$  専用サポートサイトで確認する。

[http://www.sony.jp/support/ichigan/repair\\_service/](http://www.sony.jp/support/ichigan/repair_service/)



⑤ 相談窓口で電話で問い合わせる。(裏表紙)

## バッテリー・電源

本機にバッテリーを入れられない。

- バッテリーの向きを確認し、ロックレバーがロックするまで挿入してください(20ページ)。

電源が入らない。

- 本機にバッテリーを取り付けた後、電源が入るまでに時間がかかることがあります。
- バッテリーが正しく取り付けられているか確認してください(20ページ)。
- バッテリーは使わなくても自然放電で少しずつ消耗します。充電をしてからお使いください。
- ソニー製純正のNP-FW50タイプのバッテリーかご確認ください。

その他

---

## 電源が切れる。

- 本機やバッテリーの温度によっては、カメラを保護するために、自動的に電源が切れることがあります。この場合は、電源が切れる前にモニターにメッセージが表示されます(5ページ)。
- 操作しない状態が一定時間続くと、省電力設定(パワーセーブ)になります。シャッターボタンを半押しするなどの操作をすれば、パワーセーブは解除されます。

---

## 電池の消耗が早い。

- [リモコン]が[入]になっているときは、パワーセーブ機能が働きません。リモコン使用後は[切]にしてください。

---

## 本体が高温になる。

- 長時間ご使用になると、本体表面が高温になることがあります。本機はカメラの温度が高くなるとカメラを保護するために自動的に電源を切ったり、動画撮影を停止することがあります(5ページ)。

---

## バッテリーの残量表示が正しくない。

- 温度が極端に高い、または低いところで使用しているときの現象です。
- 残量表示と実際のズレが生じています。バッテリーを一度使い切ってから充電すると正しい表示に戻ります。ご使用状況によっては、表示にズレが生じることがあります。
- 使用回数や経年変化により、バッテリー容量は低下します。使用できる時間が大幅に短くなった場合は、バッテリーの寿命です。新しいものをお買い上げください。

---

## バッテリー充電中、本機の充電ランプが点滅する。

- NP-FW50タイプのバッテリーかご確認ください。
- バッテリーを取りはずし、もう一度同じバッテリーを本機に入れてください。
- 1年以上使用していないバッテリーは劣化の可能性があります。
- 充電に適した温度範囲外にあるため、充電の一時待機状態になっています。バッテリーの充電は周囲温度が10℃～30℃の環境で行うことをおすすめします。

---

## 充電ランプが消えて充電が終わっても、充電ができていない。

- 温度が極端に高い、または低いところで充電しているときの現象です。バッテリーの充電は周囲温度が10℃～30℃の環境で行ってください。

---

## 電源を入れてもモニターがつかない。

- [FINDER/MONITOR]が[ファインダー(マニュアル)]になっています。  
[FINDER/MONITOR]を[オート]にしてください(88ページ)。

## 撮影

### 撮影できない。

- メモリーカードの空き容量を確認してください(102, 103ページ)。いっぱいときは、下記のいずれかを行ってください。
  - 不要な画像を削除してください(77ページ)。
  - メモリーカードを交換してください。
- フラッシュ充電中は撮影できません。
- 動画撮影に使用できるメモリーカードは、101ページをご覧ください。
- [デモモード]を[切]にしてください(94ページ)。
- [メモリーカードなしリリース]を[許可]にしてください(89ページ)。ただし、本機にメモリーカードを入れていない状態では、画像は記録されません。
- セルフタイマーになっています。

---

### 同じ画像が数枚撮影される。

- ドライブモードが連続撮影、またはブラケット撮影になっています。  
[1枚撮影]にしてください(58ページ)。
- 撮影モードが[プレミアムおまかせオート]になっていて、  
[プレミアムオート画像抽出]が[切]になっています(89ページ)。

---

### シャッターが連続して切れてしまう。

- 以下の設定の場合は、自動的に複数枚の連写を行い重ね合わせ処理をすることがあります。
  - [ISO感度]が[マルチショットNR]
  - 撮影モードが[スイングパノラマ]
  - 撮影モードが[プレミアムおまかせオート]
  - 撮影モードが[シーンセレクション]の[手持ち夜景]または[人物ブレ軽減]
  - [DRO/オートHDR]が[オートHDR]

---

### ピント(フォーカス)が合わない。

- 被写体が近すぎます。レンズの最短撮影距離を確認してください。

---

### 画像が白っぽくなる(フレア)。 光のにじみが現れる(ゴースト)。

- 強い光源にカメラを向けるとレンズに余分な光が入ることで画像が白っぽくなったり(フレア)、光のにじみが現れたり(ゴースト)することがありますが故障ではありません。  
ズームレンズ使用時は、レンズフードを取り付けてください。また強い光源に向けないように構図を工夫して撮影してください。

---

### 画像の隅が暗くなる。

- フィルターやフードをご使用の場合は、いったん取りはずしてお試しください。フィルターの厚みやフードの不適切な取り付けにより、画像にフィルターやフードが写り込むことがあります。また、レンズの光学的な特性により、画像周辺部が暗く写る場合(光量低下)があります。この場合は[周辺光量補正]機能を使用することをおすすめします。

## 再生

### 再生できない。

- メモリーカードが奥まで挿入されているか確認してください。
- パソコンでフォルダー/ファイルの名前を変更したためです。
- パソコンで画像を加工したファイルや他機で撮影した画像は、本機での再生は保証いたしません。
- USBモードになっています。USB接続を終了してください。
- パソコン内の画像を本機で再生するにはPlayMemories Homeをご使用ください。

# 使用上のご注意

## 使用/保管してはいけない場所

- 異常に高温、低温、または多湿になる場所  
炎天下や夏場の窓を閉め切った自動車内は特に高温になり、放置すると変形したり、故障したりすることがあります。
- 直射日光の当たる場所、熱器具の近くでの保管  
変色したり、変形したり、故障したりすることがあります。
- 激しい振動のある場所
- 強力な磁気のある場所
- 砂地、砂浜などの砂ぼこりの多い場所  
海辺や砂地、あるいは砂ぼこりが起こる場所などでは、砂がかからないようにしてください。故障の原因になるばかりか、修理できなくなることもあります。

## お手入れについて

### レンズやフラッシュ発光部をきれいにする

レンズやフラッシュ発光部に指紋やゴミが付いて汚れたときは、柔らかい布などを使ってきれいにしてください。

### 表面をきれいにする

水やぬるま湯を少し含ませた柔らかい布で軽く拭いたあと、からぶきします。本機の表面が変質したり塗装がはげたりすることがあるので、以下のことは行わないでください。

- シンナー、ベンジン、アルコール、化学ぞうきん、虫除け、日焼け止め、殺虫剤のような化学薬品類の使用
- 上記が手についたまま本機を扱うこと
- ゴムやビニール製品との長時間の接触

## モニターのお手入れ

- 手の脂、ハンドクリームなどが付いたままにするとコーティングが剥がれやすくなりますので、早めに拭き取ってください。
- ティッシュペーパーなどで強く拭くとコーティングに傷がつくことがあります。
- モニターに指紋やゴミが付いて汚れたときは、表面のゴミなどをやさしく取り除いてから、柔らかい布などを使ってきれいにすることをおすすめします。

## 動作温度にご注意ください

本機の動作温度は約0℃～40℃です。動作温度範囲を越える極端に寒い場所や暑い場所での撮影はおすすめできません。

## 結露について

結露とは、本機を寒い場所から急に暖かい場所へ持ち込んだときなどに、本機の内部や外部に水滴が付くことです。この状態でお使いになると、故障の原因になります。

### 結露が起きたときは

電源を切って結露がなくなるまで約1時間放置し、結露がなくなってからご使用ください。特にレンズの内側に付いた結露が残ったまま撮影すると、きれいな画像を記録できませんのでご注意ください。

## 内蔵の充電式バックアップ電池について

本機は日時や各種の設定を電源の入/切に関係なく保持するために充電式電池を内蔵しています。充電式電池は本機を使用している限り常に充電されていますが、使う時間が短くと徐々に放電し2ヶ月程度まったく使わないと完全に放電してしまいます。充電してから使用してください。ただし、充電式電池が充電されていない場合でも、日時を記録しないのであれば本機を使うことができます。

## 内蔵の充電式バックアップ電池の充電方法

本機に充電されたバッテリーを入れて、電源を切ったまま24時間以上放置する。

## バッテリーについて

### バッテリーの充電について

周囲の温度が10℃～30℃の環境で充電してください。これ以外では、効率のよい充電ができないことがあります。

### バッテリーの上手な使いかた

- 周囲の温度が低いとバッテリーの性能が低下するため、使用できる時間が短くなります。より長い時間ご使用いただくために、バッテリーをポケットなどに入れて温かくしておき、撮影の直前、本機に取り付けることをおすすめします。
- フラッシュ撮影、ズーム撮影などを頻繁にすると、バッテリーの消費が早くなります。
- 撮影には予定撮影時間の2～3倍の予備バッテリーを準備して、事前に試し撮りをしてください。
- バッテリーは防水構造ではありません。水などにぬらさないようにご注意ください。
- 高温になった車の中や炎天下などの気温の高い場所に放置しないでください。
- バッテリーの端子部が汚れると、電源が入らなかったり、充電ができないなどの症状が出る場合があります。このような場合は柔らかい布や綿棒などで軽く拭いて汚れを落としてください。

## バッテリーの保管方法について

- バッテリーを長時間使用しない場合でも、機能を維持するために、1年に1回程度充電して本機で使い切り、その後本機からバッテリーを取りはずして、湿度の低い涼しい場所で保管してください。
- 本機でバッテリーを使い切るには、スライドショー(92ページ)を再生して、電源が切れるまでそのままにしてください。
- 本機から取り出したバッテリーは、接点汚れ、ショートなどを防止するため、携帯、保管時は必ずポリ袋などに入れて金属から離してください。

## バッテリーの寿命について

- バッテリーには寿命があります。使用回数を重ねたり、時間が経過するにつれバッテリーの容量は少しずつ低下します。使用できる時間が大幅に短くなった場合は、寿命と思われるので新しいものをお買い上げください。
- 寿命は、保管方法、使用状況や環境によってバッテリーごとに異なります。

## Eye-Fiカードについて

Eye-Fiカードは一部の国、または地域で販売しています。

- Eye-Fiカードに関するお問い合わせは、その製造者・販売者に直接ご確認ください。
- Eye-Fiカードはご購入された国、または地域のみで使用が認められています。使用する国、または地域の法律に従ってお使いください。

## 撮影・再生に関してのご注意

- 本機は防じん、防滴性に配慮して設計されていますが、防水性能は備えていません。雨中での使用時は、本機やレンズに雨がからないようにしてください。使用後に汚れた場合は、本機を清掃してください。水、砂、ほこり、塩分などが本機に残っていると、故障の原因になります。

# 保証書とアフターサービス

## 記録内容の補償はできません

万一、カメラやメモリーカードなどの不具合などにより記録や再生されなかった場合、記録内容の補償については、ご容赦ください。

## 保証書は国内に限られています

このカメラは国内仕様です。外国で万一、事故、不具合が生じた場合の現地でのアフターサービスおよびその費用については、ご容赦ください。

## 保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめの上、大切に保存してください。

## アフターサービス

### 調子が悪いときはまずチェックを

“故障かな？と思ったら”の項を参考にして故障かどうかお調べください。それでも具合の悪いときは相談窓口にご相談ください(裏表紙)。

### 保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

### 保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

### 部品の交換について

この商品は修理の際、交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品は回収させていただきます。

### 部品の保有期間について

当社はカメラの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を製造打ち切り後7年間保有しています。ただし、故障の状況その他の事情により、修理に代えて製品交換をする場合がありますのでご了承ください。

# 安全のために

→ 2ページもあわせてお読みください。



下記の注意事項を守らないと、**火災、大けがや死亡**にいたる危害が発生することがあります。

## 分解や改造をしない

火災や感電の原因となります。内部点検や修理は相談窓口にご依頼ください。



分解禁止

## 内部に水や異物(金属類や燃えやすい物など)を入れない

火災、感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、電池を取り出してください。ACアダプターやバッテリーチャージャーなどもコンセントから抜いて、相談窓口にご相談ください。



禁止

## 運転中に使用しない

自動車、オートバイなどの運転をしながら、撮影、再生をしたり、モニターを見ることは絶対おやめください。交通事故の原因となります。



禁止

## 撮影時は周囲の状況に注意をはらう

周囲の状況を把握しないまま、撮影を行わないでください。事故やけがなどの原因となります。



禁止

## 指定以外の電池、ACアダプター、バッテリーチャージャーを使わない

火災やけがの原因となることがあります。



禁止

## 機器本体や付属品、メモリーカードは、乳幼児の手の届く場所に置かない

電池などの付属品や、メモリーカードなどを飲み込むおそれがあります。乳幼児の手の届かない場所に置き、お子様がさわらぬようご注意ください。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。



禁止

## 電池やショルダーベルト、ストラップを正しく取り付ける

正しく取り付けないと、落下によりけがの原因となることがあります。また、ベルトやストラップに傷がないか使用前に確認してください。



指示

## 可燃性/爆発性ガスのある場所でフラッシュを使用しない



禁止



下記の注意事項を守らないと、**火災、大けがや死亡**にいたる危害が発生することがあります。

### フラッシュ、AF補助光などの撮影補助光を至近距離で人に向けない

- 至近距離で使用すると視力障害を起こす可能性があります。特に乳幼児を撮影するときは、1m以上はなれてください。
- 運転者に向かって使用すると、目がくらみ、事故を起こす原因となります。



禁止

### カメラのファインダーや取りはずしたレンズを通して、太陽や強い光を見ない

視力障害や失明の原因となります。



禁止

### 長時間、同じ持ち方で使用しない。

使用中に本機が熱いと感じなくても皮膚の同じ場所が長時間触れたままの状態であると、赤くなったり水ぶくれができたりなど低温やけどの原因となる場合があります。

以下の場合には特にご注意ください、三脚などをご利用ください。

- 気温の高い環境でご使用になる場合。
- 血行の悪い方、皮膚感覚の弱い方などがご使用になる場合。



禁止

### ぬれた手で使用しない

感電の原因になることがあります。



ぬれ手禁止

### フラッシュの発光部を手でさわらない

フラッシュ発光部を指・手袋などで覆ったまま発光しない。また、発光後もしばらくは発光部に手を触れないでください。やけど、発煙、故障の原因となります。



禁止

## ワイヤレス機能ご使用上の注意

### 病院などの医療機関内、医療用電気機器の近くではワイヤレス機能を使用しない

電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。



禁止

### 航空機内ではワイヤレス機能を使用しない

電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。



禁止

### 本製品を使用中に他の機器に電波障害などが発生した場合は、ワイヤレス機能の使用を中止する

電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。



指示



下記の注意事項を守らないと、けがや財産に損害を与えることがあります。

### 水滴のかかる場所など湿気が多い場所やほこり、油煙、湯気が多い場所では使わない

火災や感電の原因になることがあります。



禁止

### 不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や傾いた所に置いたり、不安定な状態で三脚を設置すると、製品が落ちたり倒れたりして、けがの原因となることがあります。



禁止

### コード類は正しく配置する

電源コードやパソコン接続ケーブル、A/V接続ケーブルなどは、足に引っ掛けると製品の落下や転倒などによりけがの原因となることがあるため、充分注意して接続・配置してください。



指示

### 通電中のACアダプター、バッテリーチャージャー、充電中の電池や製品に長時間ふれない

長時間皮膚が触れたままになっていると、低温やけどの原因となることがあります。



禁止

### 使用中は機器を布で覆ったりしない

熱がこもってケースが変形したり、火災、感電の原因となることがあります。



禁止

### 長期間使用しないときは、電源をはずす

長期間使用しないときは、電源プラグをコンセントからはずしたり、電池を本体からはずして保管してください。火災の原因となることがあります。



プラグをコンセントから抜く

### フラッシュ発光部を正常な位置に上げない状態で使用しない

指定外のアクセサリーを装着した場合や、撮影時のスタイル等で、フラッシュ発光部が上がりきらない状態で発光させると、火災の原因となることがあります。



禁止

### レンズやモニターに衝撃を与えない

レンズやモニターはガラス製のため、強い衝撃を与えると割れて、けがの原因となることがあります。



禁止

### 電池や付属品、メモリーカード、アクセサリーなどを取りはずすときは、手をそえる

電池やメモリーカードなどが飛び出すことがあり、けがの原因となることがあります。



指示

### 直射日光の当たる場所に放置しない

太陽光が近くのものに結像すると、火災の原因になります。やむを得ず直射日光下に置く場合は、レンズキャップを付けてください。



禁止

**⚠ 危険** 電池についての  
安全上のご注意とお願い

漏液、発熱、発火、破裂、誤飲による大げや  
やけど、火災などを避けるため、下記の注意  
事項をよくお読みください。

**⚠ 危険**

- 乾電池型充電式電池・バッテリーパックは指定されたバッテ  
リーチャージャー以外で充電しない。
- 電池を分解しない、火の中へ入れない、電子レンジやオープン  
で加熱しない。
- 電池を火のそばや炎天下、高温になった車の中などに放置し  
ない。このような場所で充電しない。
- 電池をコインやヘアピンなどの金属類と一緒に携帯、保管し  
ない。
- 電池を水・海水・牛乳・清涼飲料水・石鹼水などの液体でぬ  
らさない。ぬれた電池を充電したり、使用したりしない。



禁止

**⚠ 警告**

- 電池をハンマーなどでたたいたり、踏みつけたり、落下させたり  
するなどの衝撃や力を与えない。
- バッテリーパックが変形・破損した場合は使用しない。
- アルカリ電池/ニッケルマンガン電池は充電しない。
- 外装シールをはがしたり、傷つけたりしない。外装シールの一  
部または、すべてをはがしてある電池や破れのある電池は絶対  
に使用しない。



禁止

**⚠ 注意**

- 電池は、+、-を確かめ、正しく入れる。
- 電池を使い切ったときや、長期間使用しない場合は機器から  
取り出しておく。



指示

お願い

リチウムイオン電池は、リサイクルできます。不要になったリチウムイオン電  
池は、金属部にゼロハンテープなどの絶縁テープを貼ってリサイクル協力店  
へお持ち下さい。



**Li-ion**

リチウムイオン電池

充電式電池の回収・リサイクルおよびリサイクル協力店については、  
一般社団法人JBRCホームページ  
<http://www.jbrc.com/> を参照してください。

その他

# 主な仕様

## 本体

### [形式]

カメラタイプ: レンズ交換式デジタルカメラ  
使用レンズ: ソニーEマウントレンズ

### [撮像部]

イメージセンサー: APS-Cサイズ  
(23.5 mm × 15.6 mm)、CMOSイメージセンサー

カメラ有効画素数: 約24 200 000画素  
総画素数: 約25 000 000画素

### [アンチダスト]

システム: 帯電防止コートおよび超音波振動によるアンチダスト機能

### [オートフォーカス]

形式: 位相差検出方式/コントラスト検出方式  
検出輝度範囲: EV-1~ EV20 (ISO 100相当、F2.0レンズ使用)

### [露出制御]

測光方式: イメージセンサーによる1 200分割測光  
測光範囲: EV-2~EV20 (ISO 100相当、F2.0レンズ使用)

ISO感度 (推奨露光指数):

静止画撮影時: AUTO、ISO100~  
ISO25 600 (拡張: 上限ISO51 200)  
動画撮影時: AUTO、ISO100~  
ISO25 600相当

露出補正: ±5.0EV (1/3、1/2EVステップ  
切り換え可能)

### [シャッター]

形式: 電子制御式縦走りフォーカルプレーンシャッター

シャッタースピード範囲:

静止画撮影時: 1/4 000秒~30秒、バルブ

動画撮影時: 1/4 000秒~1/4秒 (1/3段ステップ)、AUTO時は1/60秒まで  
(オートスローシャッター時は1/30秒まで)

フラッシュ同調速度: 1/160秒

### [記録メディア]

メモリースティック PRO デュオ、  
SDカード

### [モニター]

液晶モニター: 7.5 cm (3.0型) ワイド  
TFT駆動

ドット数: 921 600ドット

### [ファインダー]

形式: 電子式ビューファインダー

総ドット数: 2 359 296ドット

視野率: 100%

倍率: 約1.07倍 (35mm判換算: 約0.70倍、  
50 mmレンズ、無限遠、視度 $-1 \text{ m}^{-1}$ 時)

アイポイント (CIPA準拠):

最終光学面から約23 mm、接眼枠から  
約21.4 mm (視度 $-1 \text{ m}^{-1}$ 時)

視度調整:  $-4.0 \text{ m}^{-1}$ ~ $+3.0 \text{ m}^{-1}$

### [入/出力端子]

マルチ/マイクロUSB端子\*: USB通信

Hi-Speed USB (USB2.0)

\*この端子にはマイクロUSB規格に  
対応した機器をつなぐことができます。

HDMI端子: HDMIタイプDマイクロ端子

● (マイク) 端子:  $\varnothing$  3.5 mmステレオミニ  
ジャック

### [電源]

バッテリー: リチャージャブルバッテリー  
パックNP-FW50

## [消費電力(撮影時)]

E PZ 16-50mm F3.5-5.6 OSS\*使用時:  
約2.5 W(ファインダー使用時)  
約2.2 W(モニター使用時)  
\* ILCE-6300Lに付属

## [その他]

Exif Print : 対応  
PRINT Image Matching III : 対応  
DPOF : 対応

外形寸法(CIPA準拠)(約) :  
120.0 mm×66.9 mm×48.8 mm  
(幅×高さ×奥行き)

本体質量(CIPA準拠)(約) :  
404 g(バッテリー、メモリースティック  
PRO デュオを含む)  
361 g(本体のみ)

動作温度 : 0°C～40°C

記録方式 :

静止画記録方式 :  
JPEG(DCF Ver.2.0, Exif Ver.2.3, MPF  
Baseline)準拠、RAW(ソニーARW 2.3  
フォーマット)

動画記録方式(XAVC S方式) :  
MPEG-4 AVC/H.264 XAVC S ver.1.0  
規格準拠

映像 : MPEG-4 AVC/H.264  
音声 : LPCM 2ch(48kHz 16bit)  
動画記録方式(AVCHD方式) :

AVCHD規格 Ver.2.0準拠  
映像 : MPEG-4 AVC/H.264  
音声 : Dolby Digital 2ch  
ドルビーデジタルステレオクリエイター  
搭載

- ドルビーラボラトリーズからの実施権  
に基づき製造されています。

動画記録方式(MP4方式) :  
映像 : MPEG-4 AVC/H.264  
音声 : MPEG-4 AAC-LC 2ch  
USB通信 : Hi-Speed USB(USB 2.0)

## [フラッシュ]

ガイドナンバー : 6(ISO100・m)  
充電時間 : 約4秒  
照射角 : 16mmレンズをカバー(レンズ表記  
の焦点距離)  
調光補正 : ±3.0EV(1/3、1/2EVステップ  
切り換え可能)

## [ワイヤレスLAN]

対応規格 : IEEE 802.11b/g/n  
使用周波数帯 : 2.4 GHz帯  
セキュリティー : WEP/WPA-PSK/  
WPA2-PSK  
接続方式 : Wi-Fi Protected Setup  
(WPS) / マニュアル  
アクセス方式 :  
インフラストラクチャーモード  
NFC : NFCフォーラム Type 3 Tag準拠

Model No. WW906746

## ACアダプターAC-UUD12

定格入力 : AC 100 V ~ 240 V、  
50 Hz/60 Hz、0.2 A  
定格出力 : DC 5 V、1.5 A

## リチャージャブルバッテリー パックNP-FW50

使用電池 : リチウムイオン電池  
最大電圧 : DC 8.4 V  
公称電圧 : DC 7.2V  
容量 : 7.3 Wh(1 020 mAh)

## レンズE PZ 16-50mm F3.5-5.6 OSS<sup>1)</sup> (ILCE-6300Lに付属)

35mm判換算焦点距離<sup>2)</sup>: 24 mm~75 mm  
レンズ群・枚: 8~9

画角<sup>2)</sup>: 83°~32°

最短撮影距離<sup>3)</sup>: 0.25 m~0.3 m

最大撮影倍率: 0.215倍

最小絞り: F22~F36

フィルター径: 40.5 mm

外形寸法(最大径×長さ): 約64.7 mm×  
29.9 mm

質量: 約116 g

手ブレ補正機能: あり

- 1) 電動ズームレンズ
- 2) ここでの35mm判換算焦点距離および画角とは、APS-Cサイズ相当のイメージセンサーを搭載したデジタルカメラでの値を表します。
- 3) 最短撮影距離とは、イメージセンサー面から被写体までの最短距離を表します。

本機や付属品の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

### 焦点距離について

本機での撮影画角は、35mm判カメラの画角よりも狭くなります。お手持ちのレンズの焦点距離を約1.5倍すれば、35mm判カメラとほぼ同じ画角で撮影できる焦点距離に相当する値を求めることができます。

(例: 焦点距離50mmのレンズを付けると、35mm判カメラで約75mmに相当する画像が得られます。)

### 商標について

- メモリースティックおよび  はソニー株式会社の商標または登録商標です。
- XAVC Sおよび  はソニー株式会社の登録商標です。
- Blu-ray Disc™およびBlu-ray™はブルーレイディスクアソシエーションの商標です。
- AVCHD ProgressiveおよびAVCHD Progressiveロゴは、ソニー株式会社とパナソニック株式会社の商標です。
- Dolby、ドルビー、およびダブルD記号は、ドルビーラボラトリーズの商標です。
- HDMI、HDMI High-Definition Multimedia Interface およびHDMIロゴは、HDMI Licensing LLCの商標もしくは米国およびその他の国における登録商標です。
- Microsoft、Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Macは米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
- iPadは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
- SDXCロゴはSD-3C, LLCの商標です。
- Android、Google PlayはGoogle Inc.の登録商標または商標です。
- Wi-Fi、Wi-Fiロゴ、Wi-Fi Protected SetupはWi-Fi Allianceの登録商標または商標です。
- NマークはNFC Forum, Inc.の米国およびその他の国における商標あるいは登録商標です。
- FeliCaプラットフォームマークは、フェリカネットワークス株式会社の登録商標です。「おサイフケータイ」は、株式会社NTTドコモの登録商標です。
- AOSSは、株式会社バッファローの商標です。

- DLNAおよびDLNA CERTIFIEDは Digital Living Network Allianceの商標です。
- Facebook、“f”ロゴはFacebook, Inc.の商標または登録商標です。
- YouTubeおよびYouTubeロゴは、Google Inc.の商標または登録商標です。
- Eye-FiはEye-Fi, Inc.の商標です。
- その他、本書に記載されているシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中には™、®マークは明記していない場合があります。



## GNU GPL/LGPL適用ソフトウェアに関するお知らせ

本製品には、以下のGNU General Public License (以下「GPL」とします) または、GNU Lesser General Public License (以下「LGPL」とします)の適用を受けるソフトウェアが含まれております。お客様は添付のGPL/LGPLの条件に従いこれらのソフトウェアのソースコードの入手、改変、再配布の権利があることをお知らせいたします。

ソースコードは、Webで提供しております。

ダウンロードするには、以下のURLにアクセスしてください。

<http://oss.sony.net/Products/Linux/>

なお、ソースコードの中身についてのお問い合わせはご遠慮ください。

ライセンス内容(英文)に関しては、本機の内蔵メモリー内に記録されています。本機とパソコンをMassStorage接続し、[PMHOME] -[LICENSE]内にあるファイルをご一読ください。

# 索引

## ア行

アイコン一覧	97
アイスタートAF	88
赤目軽減発光	84
明るさ	56
アクセスポイント簡単登録	92
アクセスポイント手動登録	92
アップロード設定(Eye-Fi)	93
後幕シンクロ	39
アプリ一覧	92
位相差AF	52
一覧表示	76
色空間	86
印刷	77, 93
エリア設定	29
オートHDR	85
オートスローシャッター	86
オートフォーカス	50
オートフレーミング	86
オートレビュー	87
おまかせオート	36
音声記録	86
音声レベル表示	87
音量	75, 93

## カ行

回転	92
顔検出/スマイルシャッター	86
拡大	74, 92
拡張フレキシブルスポット	51
画質	44
カスタムキー(再生)	63
カスタムキー(撮影)	63
画像サイズ	43
カメラ内ガイド	34
JP 画面表示	41

画面表示一覧	97
ガンマ表示アシスト	93
管理ファイル修復	95
機器名称変更	92
記録画像の回転表示	92
記録可能枚数/時間	102
記録設定(動画)	68
記録フォルダー選択	95
記録方式(動画)	68
クイックナビ	42
グラフィック表示	41
クリア	54
クリーニングモード	27, 94
クリエイティブスタイル	54
グリッドライン	87
言語	3
高感度NR	85
紅葉	54
個人顔登録	89
コンテンツアスAFエリア表示	88
コントロールダイヤル	31
コントロールホイール	30

## サ行

サービス紹介	92
再生	74, 75
サイレント撮影	62
削除	77
削除確認画面	94
撮影	35
撮影可能枚数	24
撮影モード	45
シーンセレクション	46
シーン認識	36
絞り優先	47
シャッタースピード優先	48
シャッター半押しAEL	89
シャッター半押しAF	89
充電	22

初期化.....	77, 95	デジタルズーム.....	37
白黒.....	54	手ブレ補正.....	86
人物ブレ軽減.....	46	手持ち夜景.....	46
水準器.....	41	デモモード.....	94
スイングパノラマ.....	45	テレビ鑑賞(Wi-Fi).....	91
ズーム.....	35, 37, 85	テレビで見る.....	75, 77
ズーム設定.....	37	電子音.....	78
ズームリング操作方向.....	91	電子先幕シャッター.....	89
スタンダード.....	54	動画.....	67, 75
スポーツ.....	46	動画記録設定.....	68
スポット測光.....	85	動画記録方式.....	68
スマートズーム.....	37	同時ビデオ記録.....	83
スマートフォン転送.....	91	登録.....	63
スマートリモコン内蔵版.....	82	登録呼び出し.....	63
スマイルシャッター.....	86	時計合わせ.....	29
スライドショー.....	92	ドライブモード.....	58, 60
スローシンクロ.....	39		
設定リセット.....	95		
セピア.....	54		
ゼブラ.....	87		
セルフタイマー.....	60		
全画素超解像ズーム.....	37		
操作音.....	78		
測光モード.....	85		
ソフトウェア.....	80		

## タ行

ダイヤル/ホイールの設定.....	91
ダイヤル/ホイール露出補正.....	91
ダイヤル/ホイールロック.....	91
タイトルメニュー.....	93
ダイレクトマニュアルフォーカス.....	53
ダウンロードアプリケーション.....	81
縦横比.....	83
中央ボタン押しロックオンAF.....	86
調光補正.....	84
長秒時NR.....	85
著作権情報.....	95
ディープ.....	54
定常光.....	89

## ナ行

日時設定.....	29
ニュートラル.....	54
認証マーク表示.....	95
ネットワーク設定リセット.....	92
ノイズリダクション.....	85

## ハ行

バージョン表示.....	95
ハイフレームレート撮影.....	71
パソコン.....	80
パソコン保存(Wi-Fi).....	91
バッテリー.....	20
花火.....	49
パノラマ.....	45
パノラマ：画像サイズ.....	83
パノラマ：撮影方向.....	83
バルブ撮影.....	49
パワーセーブ開始時間.....	94
ピーキング色.....	88
ピーキングレベル.....	88
ピクチャーエフェクト.....	85 <sub>JP</sub>
ピクチャープロファイル.....	73

飛行機モード	91
ヒストグラム	41
美肌効果	86
ビビッド	54
ビューモード	92
表示画質	94
ピント拡大	85
ピント拡大時間	87
ピント拡大中のAF	87
ファイル番号	95
ファイル名設定	95
ファインダー明るさ	93
ファインダー色温度	93
ファインダーフレームレート	61
ファンクションボタン	32, 66
ファンクションメニュー設定	66
風音低減	86
風景	46, 54
フォーカスエリア	51
フォーカスエリア自動消灯	88
フォーカススタンダード	30
フォーカスモード	50
フォーカスロック	51
フォーマット	77
フォルダー形式	95
フォルダー新規作成	95
ブラケット	58
ブラケット設定	59
フラッシュモード	39
プリAF	88
プリント	77, 93
プレミアムオート画像抽出	89
プレミアムおまかせオート	36
プログラムオート	45
プロテクト	93
ヘルプガイド	11
ポートレート	46, 54
ボリューム	75, 93
JP ホワイトバランス	85

## マ行

マーカー設定	87
マーカー表示	87
マクロ	46
マニュアルフォーカス	52
マニュアル露出	49
マルチインターフェースシュー	16
マルチショットNR	57
メディア残量表示	95
メニュー	33
メモリーカード	20, 101
メモリーカードなしリリース	89
モードダイヤル	45
モードダイヤルガイド	93
モニター明るさ	93
モニター表示	41

## ヤ行

夜景	46, 54
夜景ポートレート	46
夕景	46, 54
横縦比	83

## ラ行

ライト	54
ライブビュー表示	88
リセット	95
リモコン	94
レンズ	19, 26
レンズなしリリース	89
レンズ補正	90
連続撮影	58
録音レベル	86
露出設定ガイド	88
露出値ステップ幅	84
露出補正	56
露出補正の影響	89
ロックオンAF	51

## ワ行

ワイヤレス .....	39
ワンタッチ (NFC) .....	82, 91

## アルファベット順

AF-C時の優先設定 .....	89
AF-S時の優先設定 .....	89
AF(オートフォーカス) .....	50
AF駆動速度 .....	84
AFシステム .....	90
AF追従感度(動画) .....	84
AF微調整 .....	90
AF補助光 .....	84
AVCHD .....	68
AWB .....	85
A(絞り優先) .....	47
DISP .....	41, 87
DMF .....	50, 53
DPOF .....	98
DRO/オートHDR .....	85
Dレンジオプティマイザー .....	85
Eye-Fi .....	93
FINDER/MONITOR .....	88
Fn(ファンクション)ボタン .....	32, 66
HDMI設定 .....	94
Image Data Converter .....	79
ISO AUTO低速限界 .....	85
ISO感度 .....	57
JPEG .....	44
Mac .....	79
MACアドレス表示 .....	92
MENU .....	33
MFアシスト .....	53, 87
MF(マニュアルフォーカス) .....	52
MOVIE(動画)ボタン .....	67, 91
M(マニュアル露出) .....	49
NFC .....	18, 82
PlayMemories Camera Apps .....	81
PlayMemories Home .....	80

P(プログラムオート) .....	45
RAW .....	44
SCN .....	46
SSID・PWリセット .....	92
S(シャッタースピード優先) .....	48
TC/UB設定 .....	94
USB LUN設定 .....	94
USB給電 .....	94
USB接続 .....	94
WB .....	85
Wi-Fi .....	10
Windows .....	79, 80
XAVC S 4K .....	68
XAVC S HD .....	68

## 記号・数字順

4K映像の出力先 .....	94
----------------	----

以下の機能の詳しい情報は、「ヘルプガイド」をご覧ください

- ISO AUTO低速限界
- ピクチャープロファイル
- ガンマ表示アシスト
- TC/UB設定
- ブライトモニタリング
- 瞳AF
- ピクチャーエフェクト
- パノラマ撮影

URL :  
<http://rd1.sony.net/help/ilc/1540/ja/>











## 『α』専用サポートサイト

製品に関するQ&A、パソコンとの接続方法、使用可能なメモリーカード、アクセサリ互換情報に加えて、撮影方法など写真をもっと楽しみたいときに役立つ情報を掲載しています。



<http://www.sony.jp/support/ichigan/>

## ソフトウェアのサポート情報

PlayMemoriesシリーズなどのソフトウェア・アプリケーションに関する情報を掲載しています。

<http://www.sony.jp/support/r/disoft/>

## 『α』オフィシャルサイト

レンズ交換式デジタルカメラの最新情報、撮影テクニック、アクセサリなどに関する情報を掲載しています。

<http://www.sony.jp/ichigan-e/>

よくあるお問い合わせ、窓口受付時間などはホームページをご活用ください。

<http://www.sony.jp/support/>

## 使い方相談窓口

フリーダイヤル …………… 0120-333-020  
 携帯電話・PHS・一部のIP電話 … 050-3754-9577

## 修理相談窓口

フリーダイヤル …………… 0120-222-330  
 携帯電話・PHS・一部のIP電話 … 050-3754-9599

※取扱説明書・リモコン等の購入相談はこちらへお問い合わせください。

左記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に

「402」+「#」

を押してください。  
 直接、担当窓口へおつなぎします。

FAX(共通) 0120-333-389

ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

<http://www.sony.co.jp/>